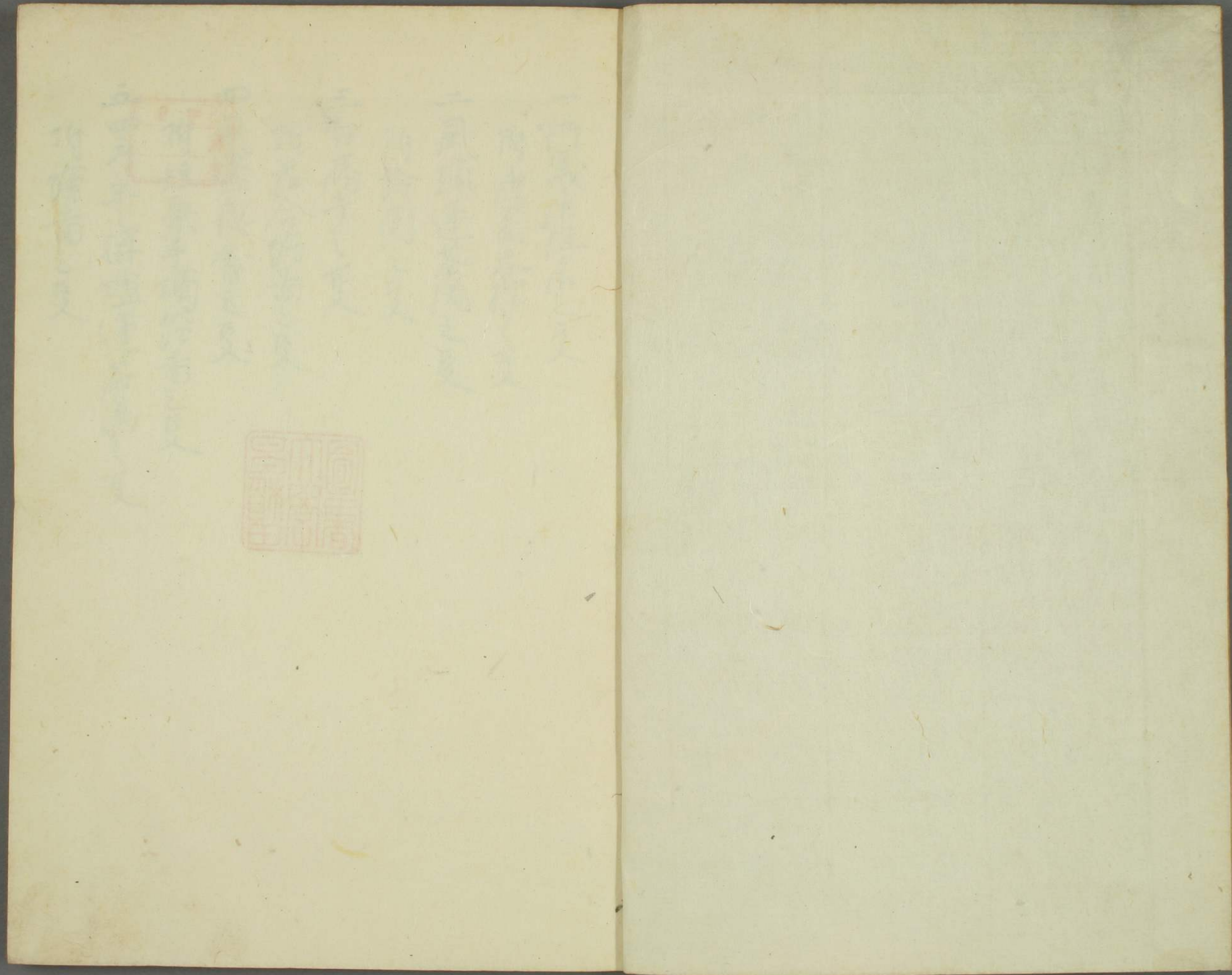


貞要集

二

多9  
629  
3





門 7 9  
義  
卷



一行儀后徑后之夏

附冲茶吞杯之夏

二風爐運茶湯之夏

附繪圖之夏

三右勝手之夏

附在合繪畫之夏

四風爐夜會之夏

附短檠手燭繪畫之夏

五四弄半將爐運茶湯之夏

附繪畫之夏

六同硯屏莊之夏

附繪畫之夏

七同小及卷之夏

附繪畫之夏

八九一五上切爐心得之夏

附繪畫之夏

九大目攝爐尺右運茶湯之夏

附長板莊念并繪畫之夏

十向切爐之夏

附繪畫之夏

十一同勝手之夏

附繪畫之夏

十二妙喜庵切爐之夏

十三朝會之夏

十四夜會之夏

附繪畫之夏

十五一客一亭之夏

附花所中之夏

十六貴高御茶上作法之夏

附名物會秋之夏

十七茶点前心得之夏

十八畧手前之夏

十九盆石之夏

附石菖鉾之夏

一 居住居大目の茶四杯半梅一盃梅が風がたり居住り茅

一文致之茶居居居り尺合遠い道具ら刷悉遠中書面不

中し記了類 荒端書記の好く稽古を 一 別な書録用

しし記す

一 四杯半梅少くは是の茶の中を凡の條の内りしてが海の通り

條の内り茶居居が凡の向の角を我方の茶中を凡の通り居居

茶居居の茶居居の茶居居の茶居居の茶居居の茶居居の茶居居の

り

一 大目梅少くは是の茶の中を凡の條の内りして茶の茶居居を條の

り通曲行我方の茶居居の合を茶居居の茶居居の茶居居の茶居居の



茶を吞時給ふつと中心少く時宜を度し物と茶を載吞  
尸更ハ天子 公方も茶に載てつ成る 又例をね又半高の  
少半茶とて所茶とる所ふ茶を以て謹て載少く 伝出の茶  
の徳を載せし物に有る茶を以て其夫人の向て一礼して茶  
碗を以て載給ふ 是ハ上茶碗に給ふとて一礼を以て二度  
載せし 所茶を給ふ所は給はせし物 茶碗を載て  
返して一礼を以て物として 茶の礼ハ蓋の縁と給りて茶  
の礼を奪としてさるる中ハ古来ハ三人一器一人一銀す  
立し 中ハ物休能とて馬取茶を成中ハ所茶を以て馬取  
茶碗の儀ハ立し 吸茶も成中ハ今ハ所茶好中ハ

西陽ふ立し 物休能中ハ成り

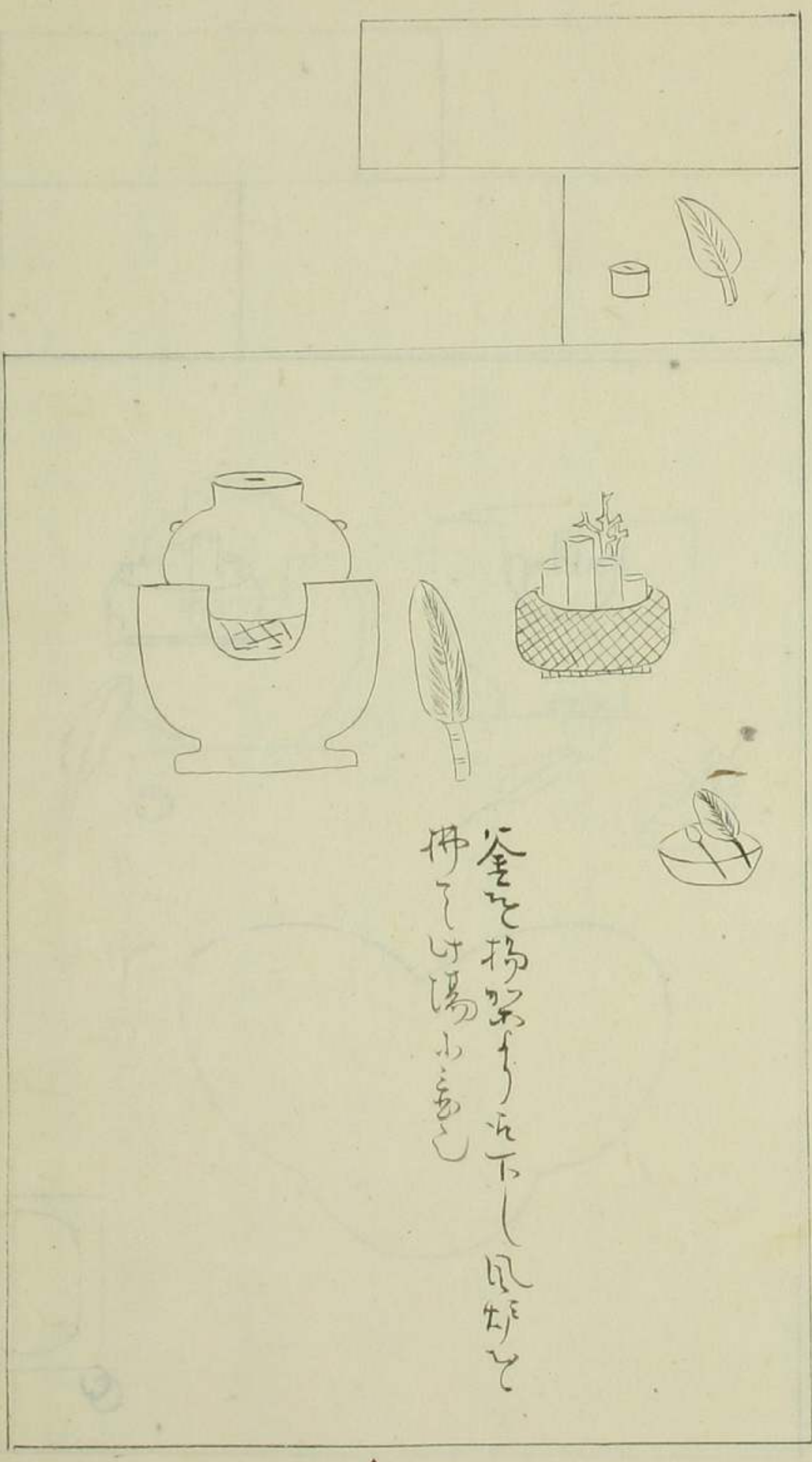
二風物運茶局の受 所合給用之受

一風物の茶局の草の童子とて 中ハ料院は茶茶子とて  
茶中持茶之法を其亭を備へて其一人ハ風物あり  
床とて中ハ又其法とて 風物の所仕物と有る茶の水  
を給ふに其を以て 中ハ其時物と有る事  
之入中 上茶の一人宛茶に給て 情水継を給ふ法とて 其  
水碗を以て入物と有る事 茶を以て 別給用と有る事  
草の風物ハ給給と有る類也 風物ハ五法也

神座小茶中 出錫抄本 合茶とて 中ハ有る事

此等風物をよみてはけりし風物にやれり  
 此等風物おに一ツ羽の物なり  
 一巻を上と下をきりし所を折てお湯の  
 湯をいれお湯をいれお湯をいれお湯をいれ  
 湯をいれお湯をいれお湯をいれお湯をいれ  
 湯をいれお湯をいれお湯をいれお湯をいれ  
 湯をいれお湯をいれお湯をいれお湯をいれ

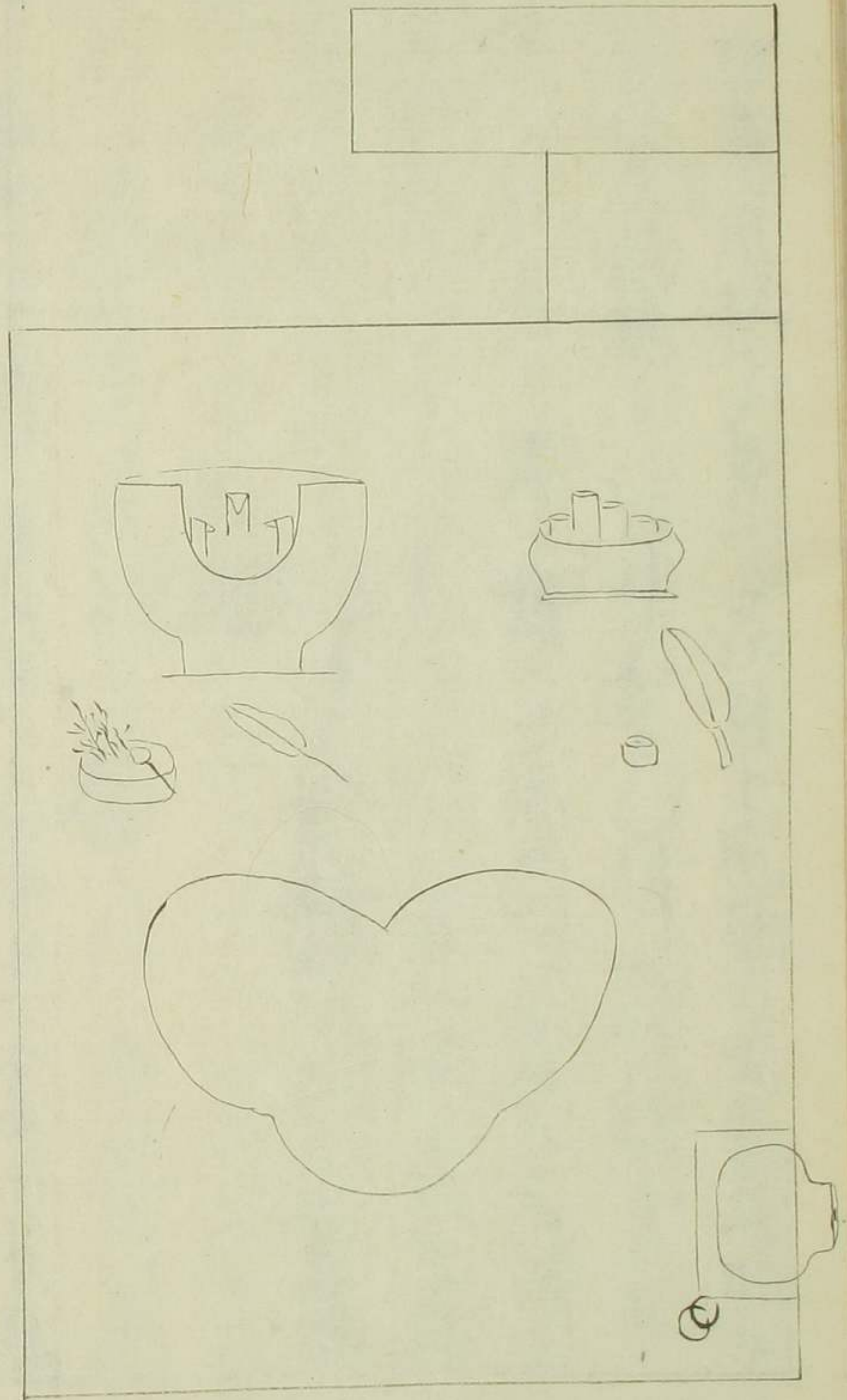
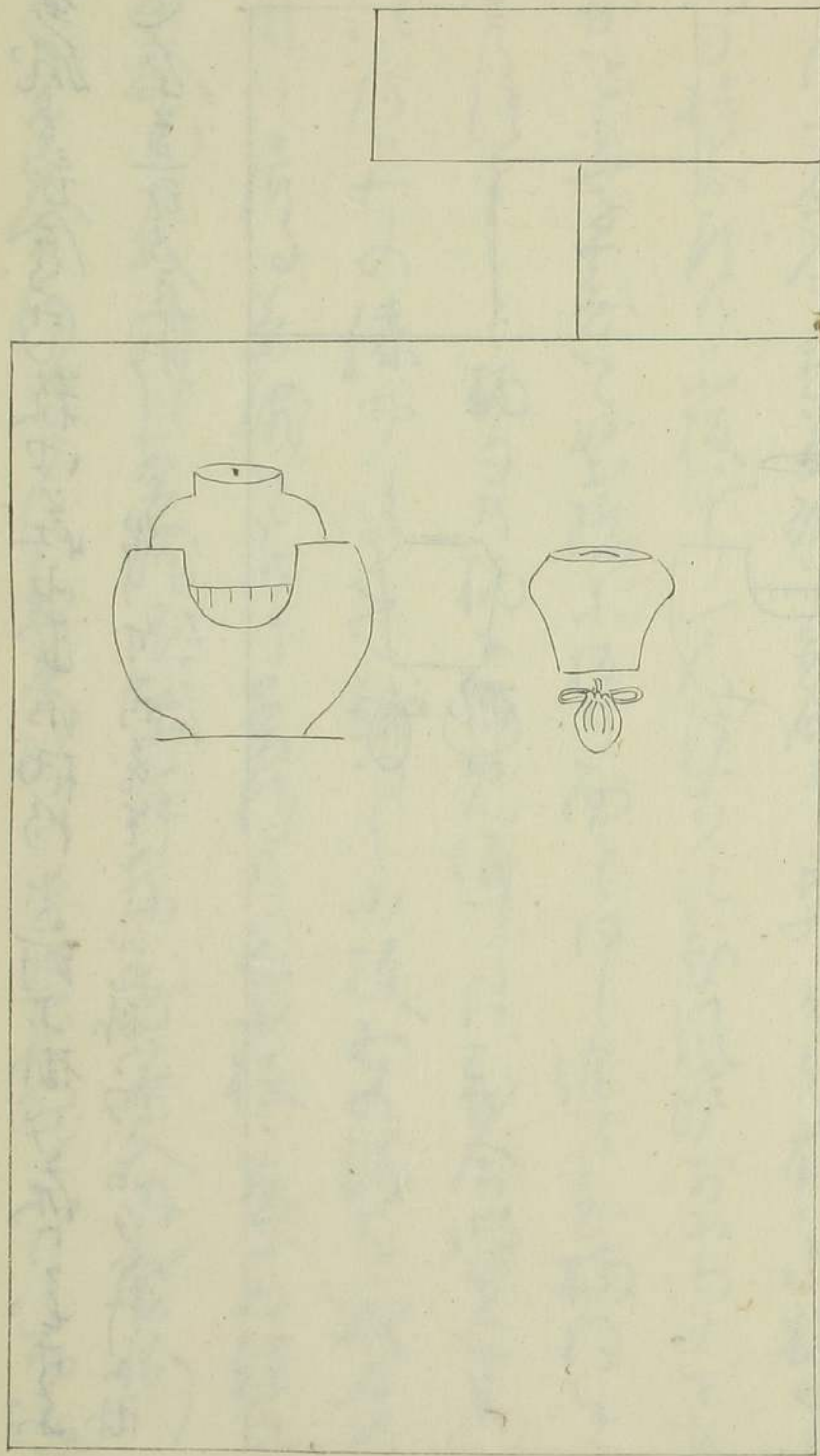
一ツ羽の物に湯をいれお湯をいれお湯をいれ  
 湯をいれお湯をいれお湯をいれお湯をいれ  
 湯をいれお湯をいれお湯をいれお湯をいれ  
 湯をいれお湯をいれお湯をいれお湯をいれ  
 湯をいれお湯をいれお湯をいれお湯をいれ  
 湯をいれお湯をいれお湯をいれお湯をいれ  
 湯をいれお湯をいれお湯をいれお湯をいれ



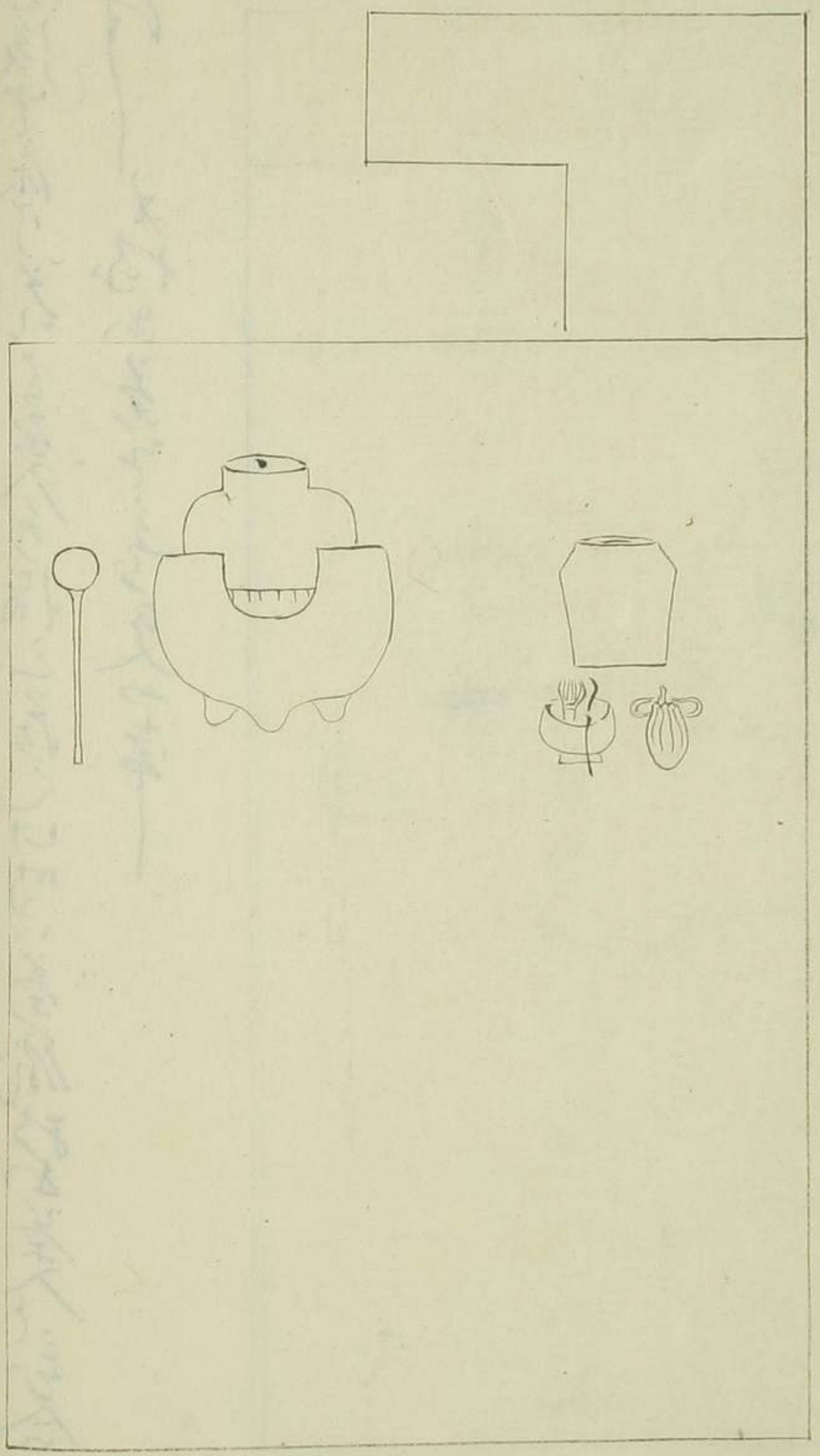
釜を揚ぎし下し風がと  
 丹い湯の事



一 風爐後中 亦り 花と 茶入 指と 茶こし 竹の 茶籠 持茶入 と 茶合  
 水合 一 茶合 出茶を する 又 茶合



一茶入茶碗と茶合の時敷は庄山並の柄杓を訂し掛し床の裏に  
 五斗の茶道取らば  
 併し竹筒茶生を床に掛し訂し掛し  
 石戸に

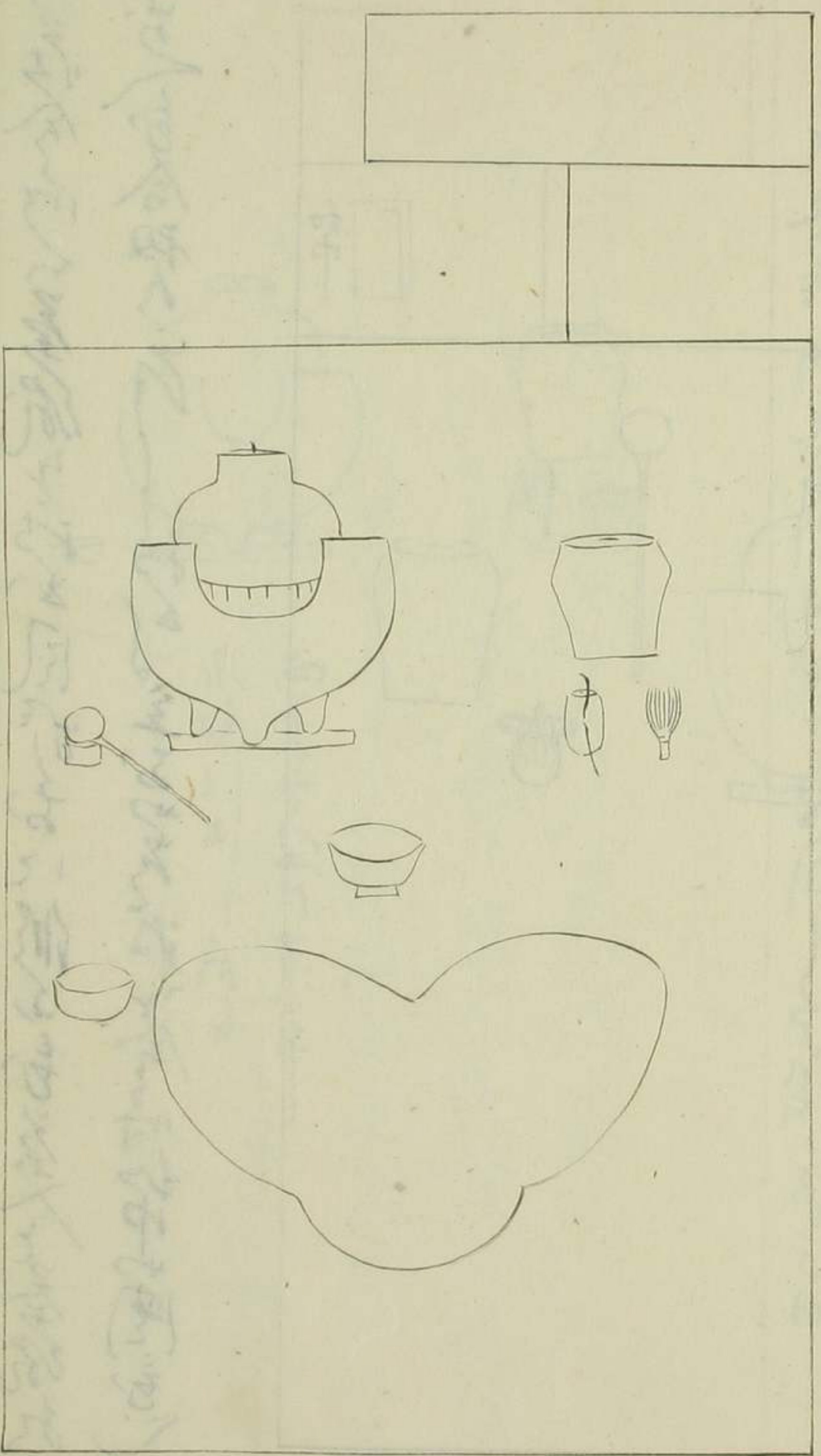


一風吹く茶碗の水指のすに茶入茶碗は合の時敷の水指の  
 水指の中角と別茶入茶碗を合の時敷の水指の向の水指  
 の中角と茶入を茶碗と合の時敷の水指の水指の水指の  
 茶碗の水指の水指の水指の水指の水指の水指の水指の水指  
 掛金乃し水指の水指の水指の水指の水指の水指の水指の水指  
 床に掛し水指の水指の水指の水指の水指の水指の水指の水指  
 中角の水指の水指の水指の水指の水指の水指の水指の水指  
 茶入を水指の水指の水指の水指の水指の水指の水指の水指  
 茶入の水指の水指の水指の水指の水指の水指の水指の水指

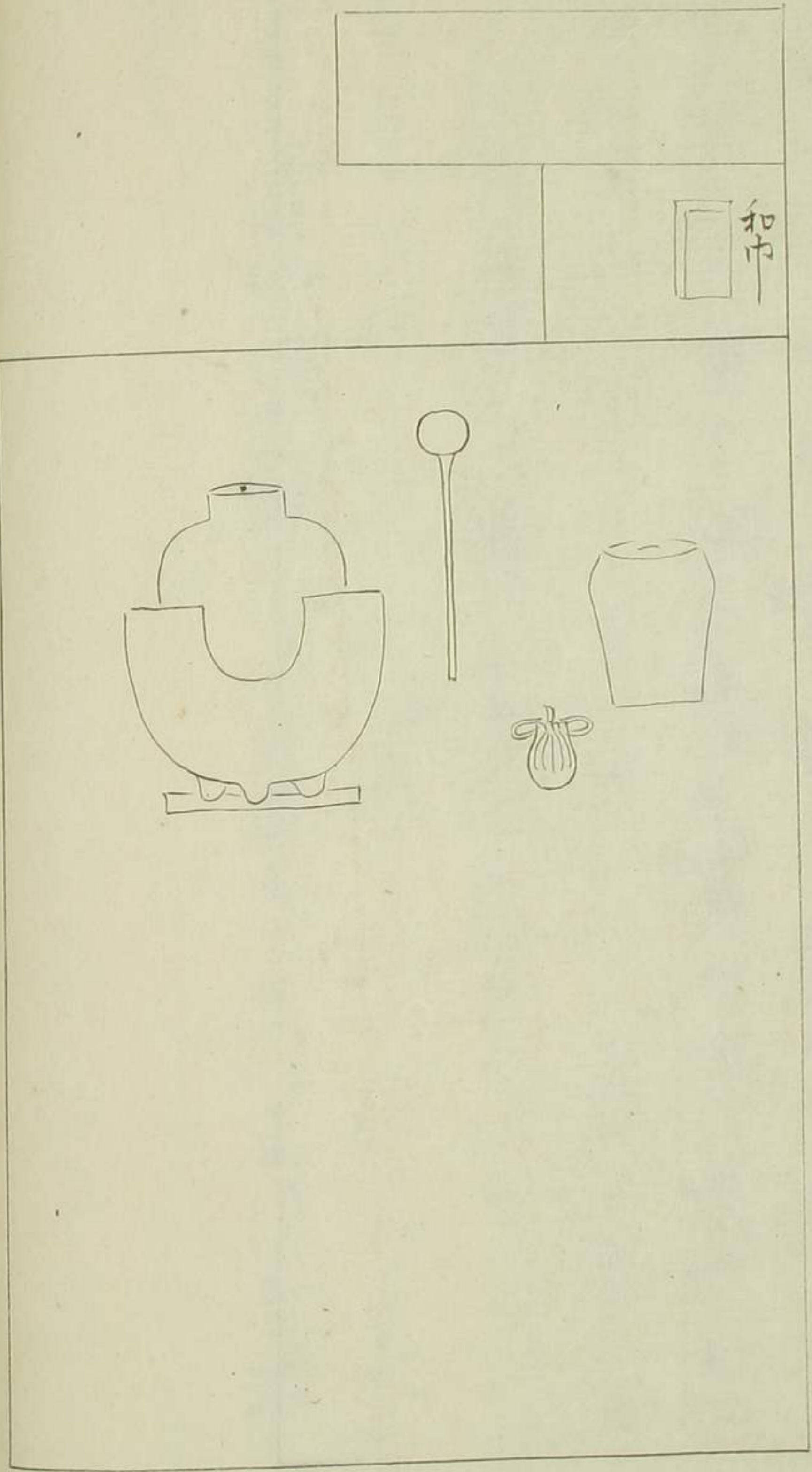
白濁  
真之茶  
と  
女

ては茶を好むやゆへに西の茶を好む切初めは也  
物好しとおたるはゆるし 併し小振りしたる茶の茶  
巾を好むゆへに小振り茶を好む  
茶の入りたる茶中茶丸一丸を隅小風好む  
茶の入りたる茶中茶丸一丸を隅小風好む  
茶の入りたる茶中茶丸一丸を隅小風好む

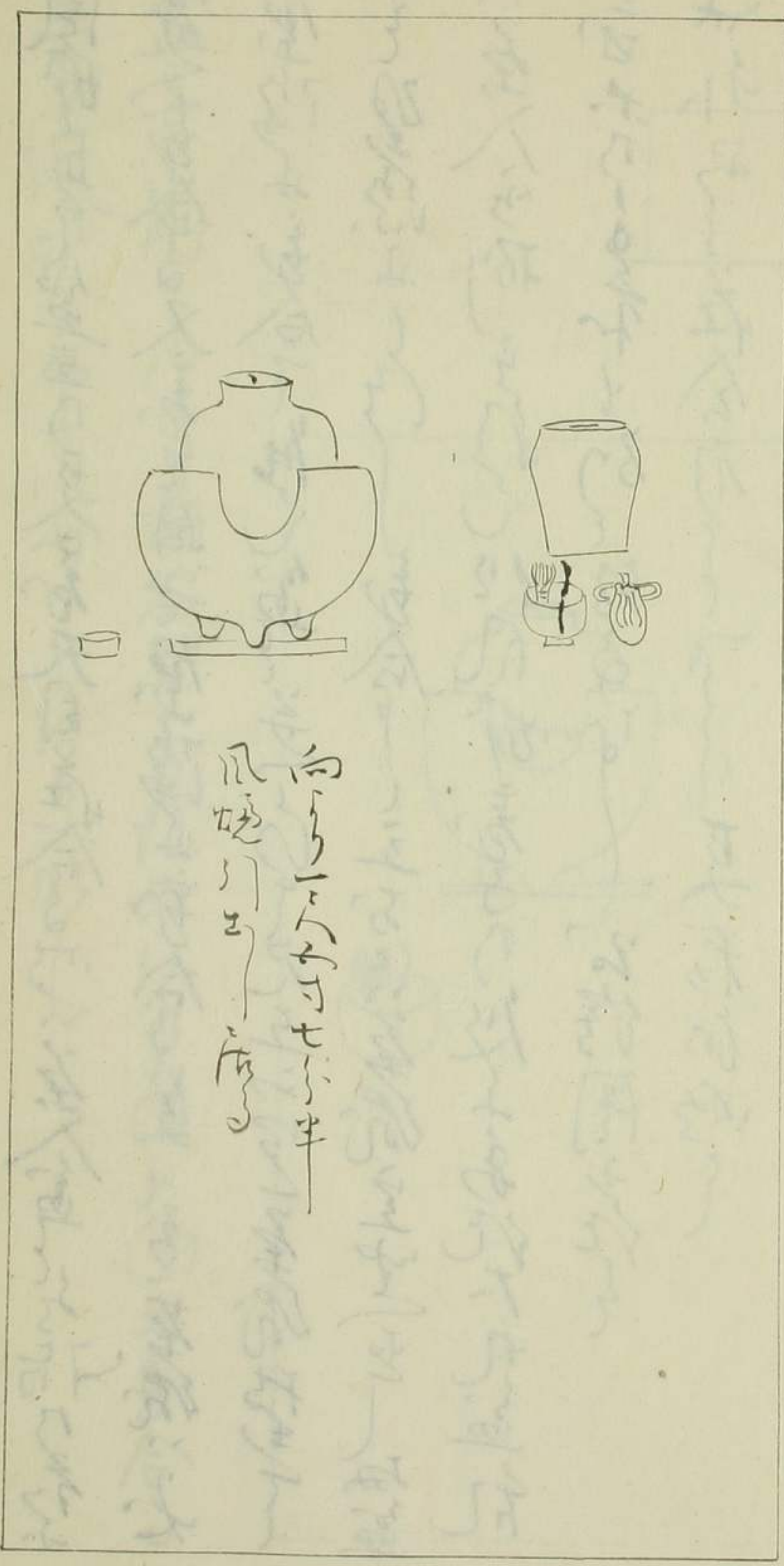
茶の入りたる茶中茶丸一丸を隅小風好む  
茶の入りたる茶中茶丸一丸を隅小風好む  
茶の入りたる茶中茶丸一丸を隅小風好む  
茶の入りたる茶中茶丸一丸を隅小風好む  
茶の入りたる茶中茶丸一丸を隅小風好む



此の茶合の形は茶碗を以て風が吹かぬに似せしめ茶入と茶碗の  
 形のちよと合ぬるなり。此の茶合の形は茶碗を以て風が吹かぬに似せしめ茶入と茶碗の

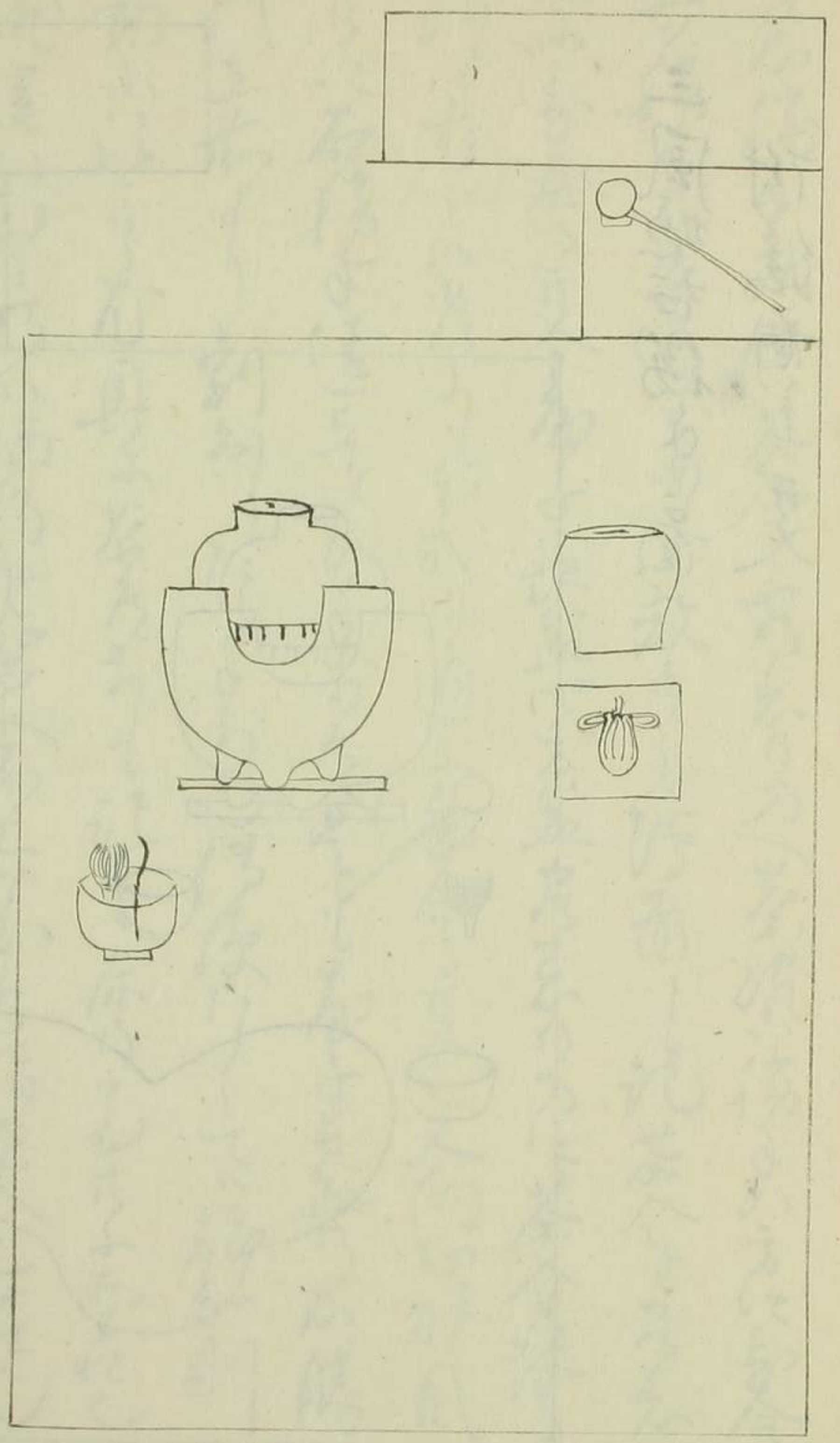


丸一茶の風が吹かぬに似せしめ茶入と茶碗の  
 形のちよと合ぬるなり。此の茶合の形は茶碗を以て風が吹かぬに似せしめ茶入と茶碗の



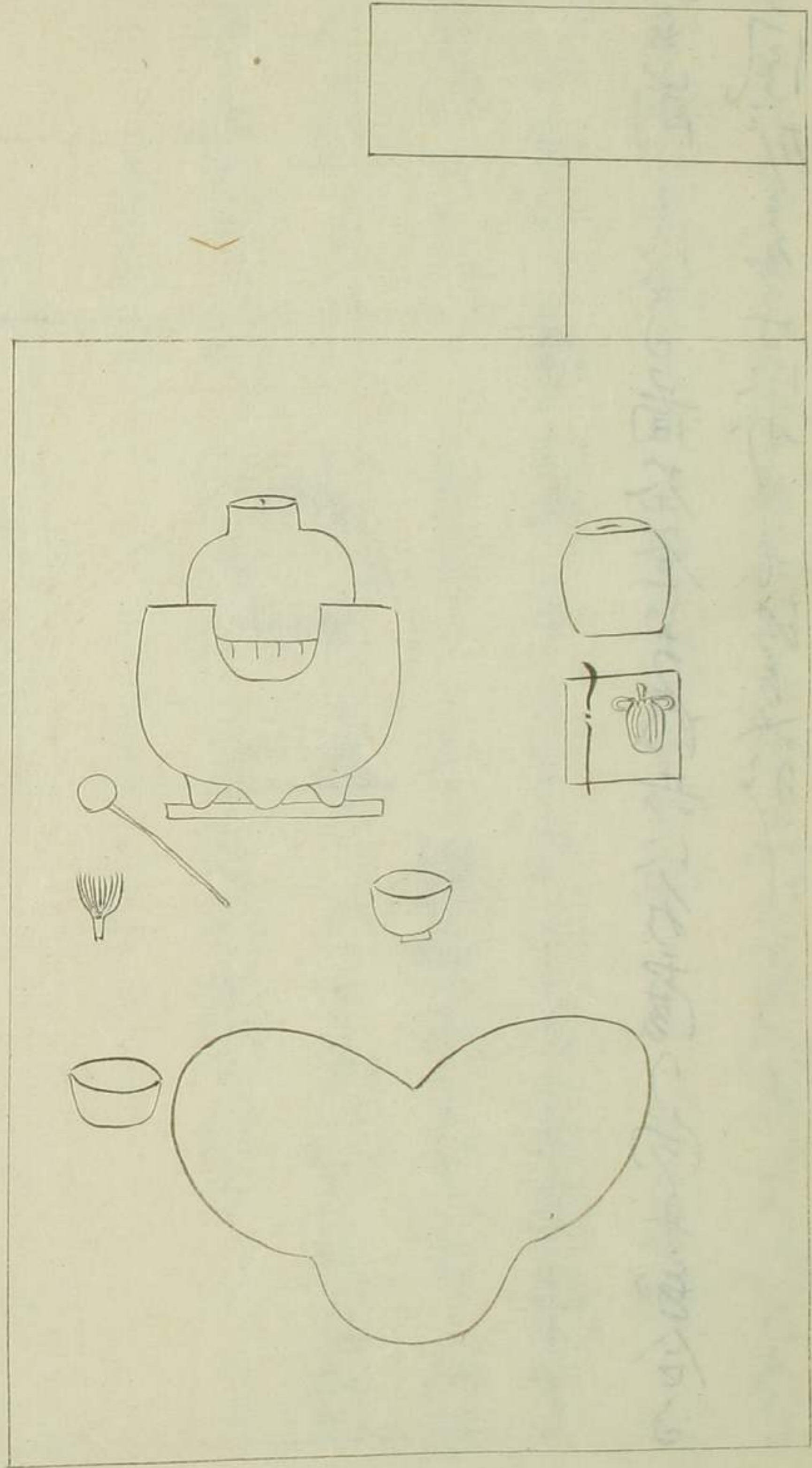
一風がすし並立り又高天目在合の時の茶合と云指り茶  
 并の合又高天目と懸置の合と云又と茶統の合  
 懸置の合と云能く並て並の合と云茶統の合と云  
 と懸置の合と云又合中し立ての茶統の合と云  
 の茶入の合と云但凡が茶子の扱つ茶統の大合と云  
 其の合と云茶子の扱つ茶統の合と云  
 其外は在合の合と云又茶統の合と云

盆立の形（在合の合と云）



盆立の形（在合の合と云）  
 盆立の形（在合の合と云）  
 盆立の形（在合の合と云）

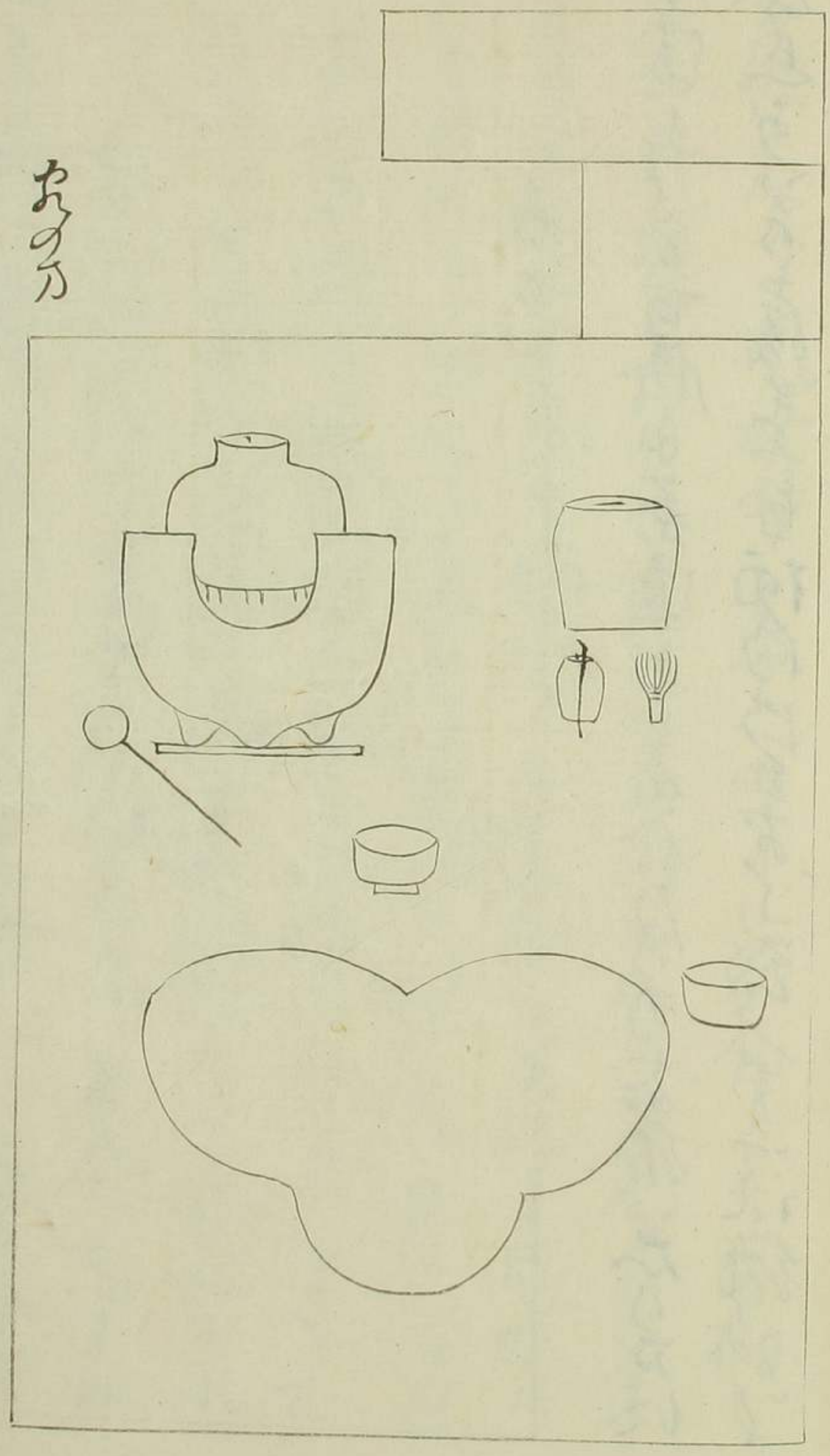
三風爐右儀の圖  
附儀前より夏



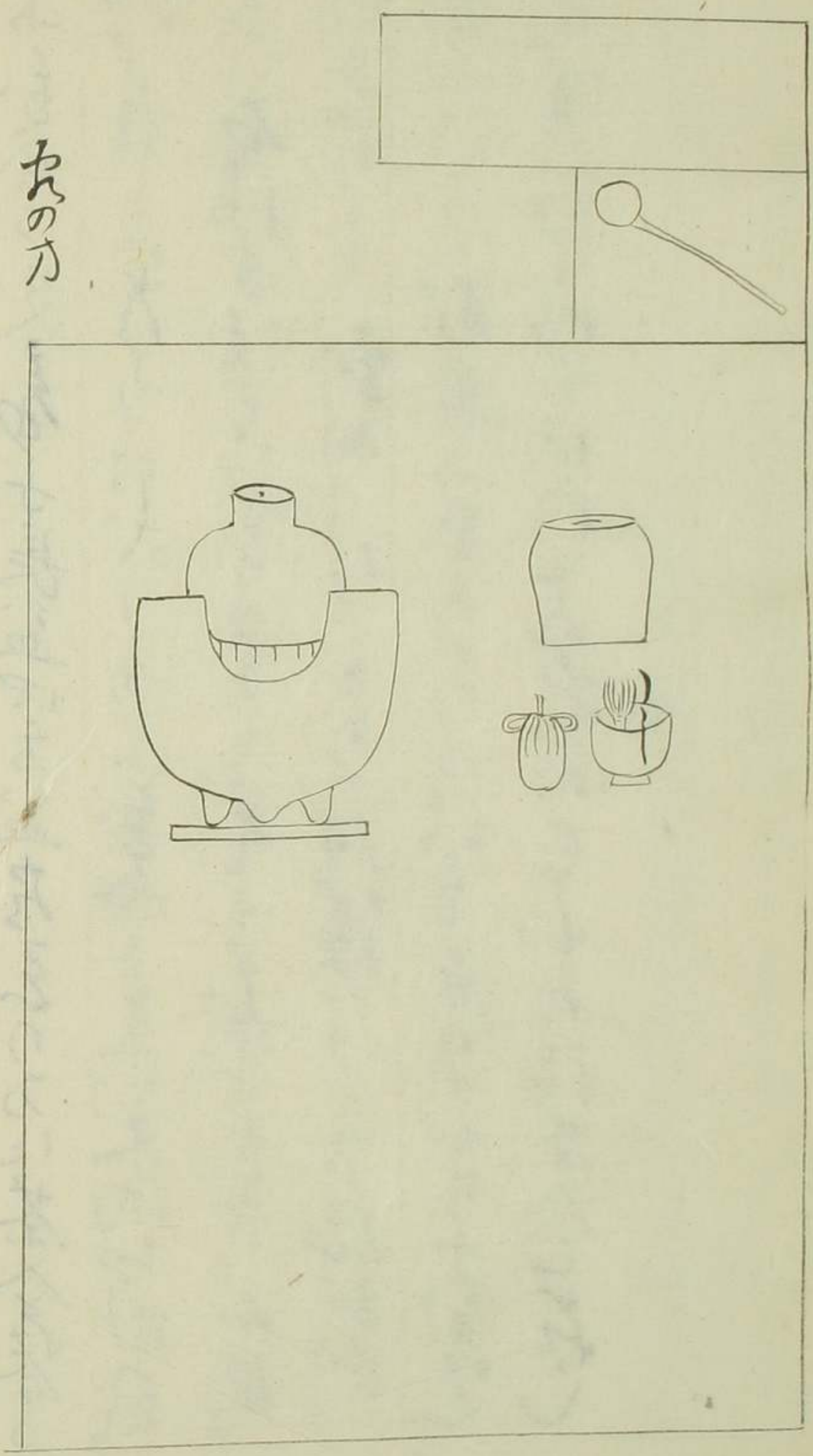
一 風呂右儀の儀合の茶合をお急の力茶碗儀の儀の方の都合  
 之右儀の茶道より效を以て附前より託茶合をお急  
 此方お急の夏より夏より長盆四方盆お急の方の茶合の儀合  
 定儀より有る儀より中より通ふ都合夏より夏より又向切が風  
 爐より右儀の儀合よりお急の儀より夏より夏より右儀  
 之儀より右儀より割切の儀より夏より夏より右儀  
 修前より右儀より右儀より右儀より右儀より右儀より右儀より  
 茶碗儀の儀より右儀より右儀より右儀より右儀より右儀より

芝生の書  
 お急の書  
 夏より夏より  
 夏より夏より  
 夏より夏より

茶園の茶葉は遠くまで運ぶに  
 都合よく茶葉を詰りたる  
 茶葉道ちては



茶葉の詰りたる茶葉道ちては  
 詰りたる

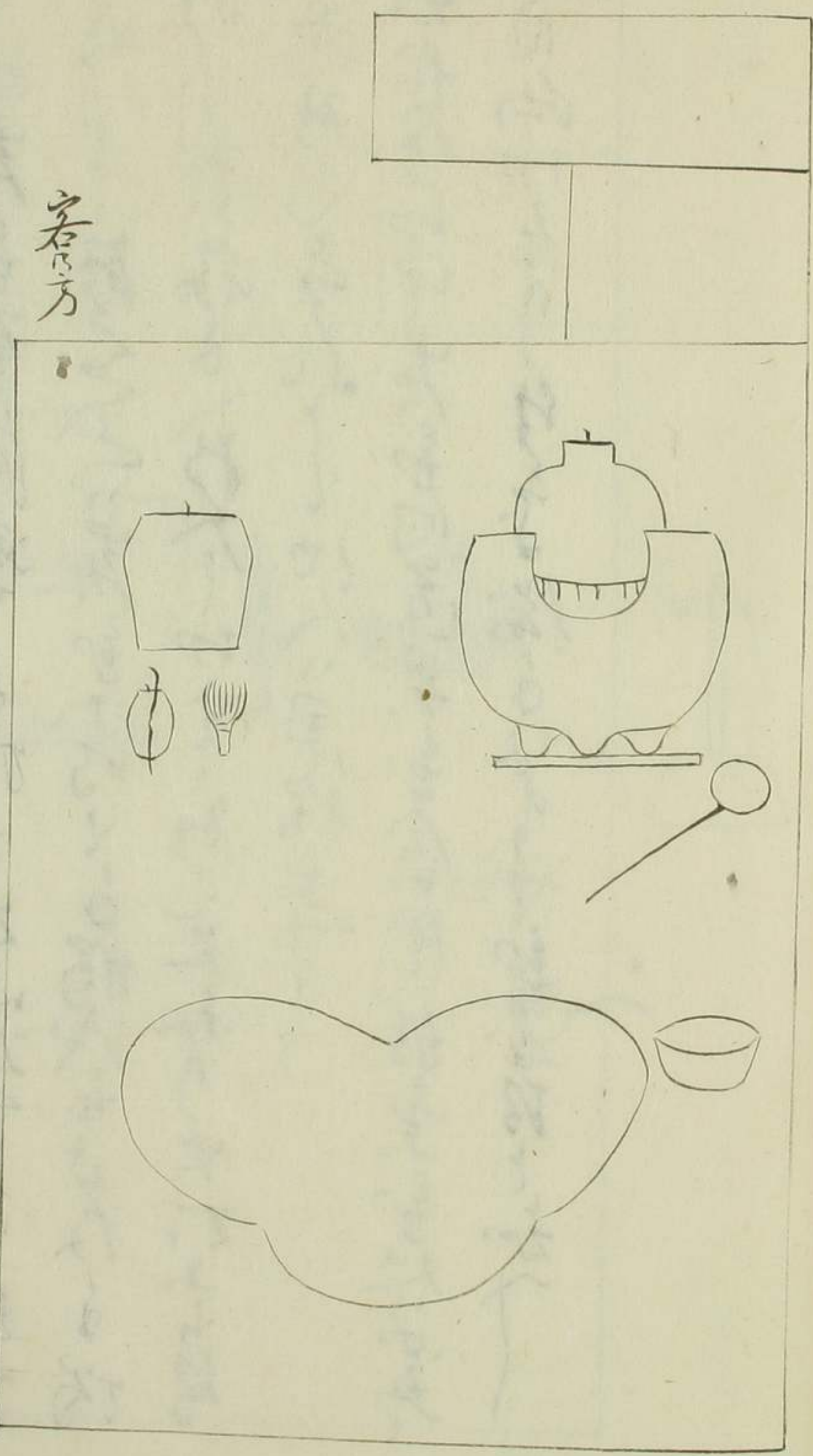






茶上中印茶合茶院代猪子乃通て毛合カキ者利公馬院  
 及初休侍ハ右猪子乃向ハ茶入を長尾小童合印ハ其物  
 用之ハ事トヨリ侍カキハ侍ハ物主乃向ハ茶合面ナ  
 尺乃小枝之通リカキ茶院風好氣室中ニ置キ茶合柄  
 室中ニ置キカキ猪子其裏ハ侍ハ風好を古小印到  
 其乃ハ火氣を疎カシ立カキ猪子此ハ其ハ古織物ニ与  
 方ニ由リ侍ハ能ハカク

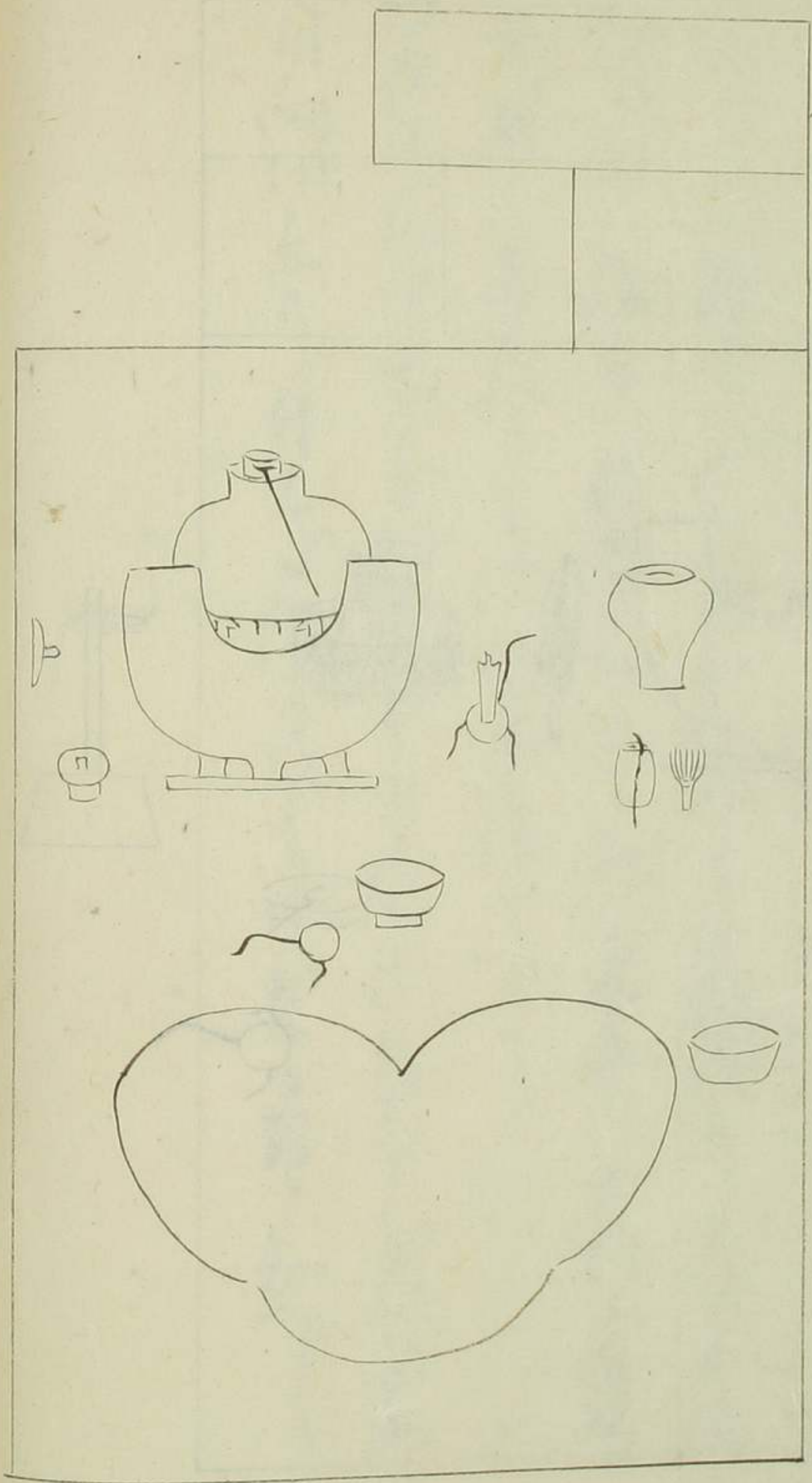
一風地底合印茶院茶中其合中ノ々尺合層席其時  
 四風地底合經茶子端新之度



茶方



取らば通して開りたるは此處を以て蓋碗を以てて蓋碗の形を以て  
おしる也



右凡抄運の茶碗在合有指指圖少此寸毫子高行草の  
成(一)今 抄 運 之 物 丁 一 寸 合 寸 抄 寸 外 寸 一 寸 合 寸 法 遠 不 尺 尺 寸  
毛爪呂 抄 寸  
抄 寸 尺 合 寸  
抄 寸 尺 合 寸  
三 湯 寸 尺 尺 寸 合 寸 尺 寸 一 寸

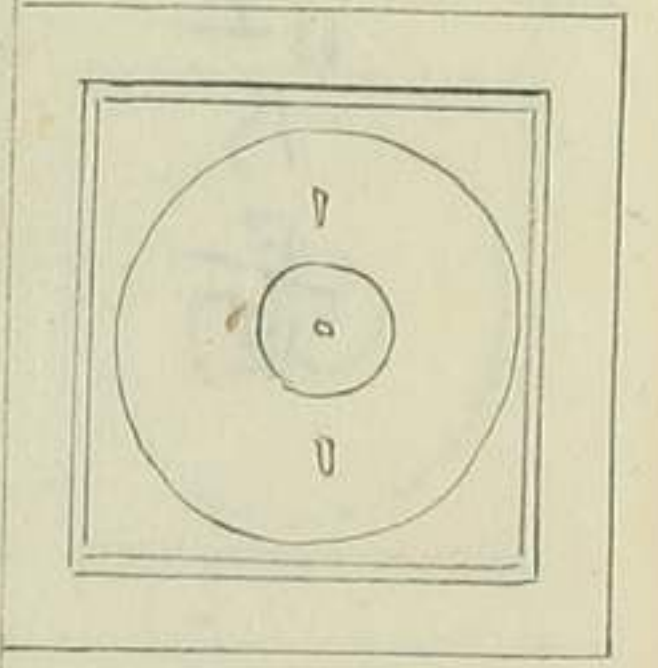
五四五半田畑裏運茶湯之文

附在合指圖之文

一四五半抄高寸寸寸 在草行抄法之麻寸外物尺寸寸寸  
草寸羽者 寸合寸寸寸 寸寸寸 寸寸寸 寸寸寸 寸寸寸 寸寸寸  
草寸寸及寸寸寸 寸寸寸 寸寸寸 寸寸寸 寸寸寸 寸寸寸 寸寸寸  
之則寸寸寸 寸寸寸 寸寸寸 寸寸寸 寸寸寸 寸寸寸 寸寸寸 寸寸寸

有之形也。物として切が昔若物の道々。物持の先牛  
 以て半梅の。て他人の意子屋向石成。取上げて  
 物が切中込込。代に並所ふ事て。心住居場を印や。

四月半初申の庄之圖



四月半初申の庄之圖  
 四月半初申の庄之圖  
 四月半初申の庄之圖

四月半初申の庄之圖

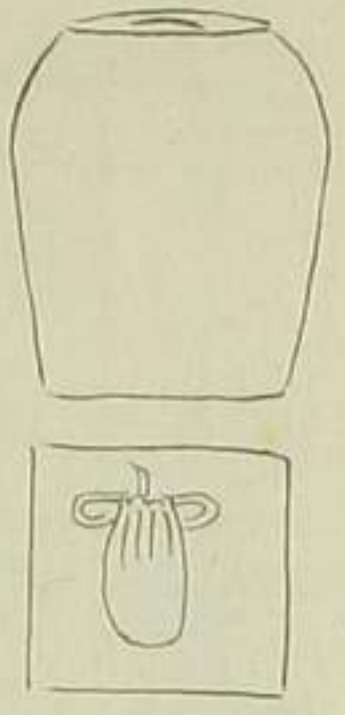
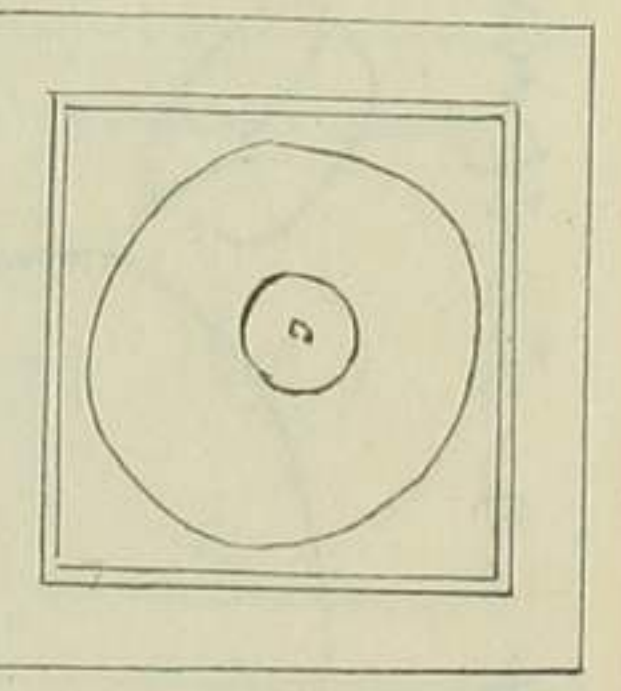


四月半初申の庄之圖  
 四月半初申の庄之圖

一 後中より指を道へ送り其中に茶四方盃に茶入を載  
 せ指りおの茶を流しきり茶碗をさし目程に茶合の中此  
 以柄杓を釘を懸し床のまに五三仕の茶を、別水二  
 一 甚茶の法は茶道より草乃茶子と同様の仕合  
 天目より五三仕同様の茶碗茶碗より、茶合より天目  
 乃茶の法は湯のたまりを盃に茶碗を懸しきり  
 以柄杓の心の定法に別後圖に記す

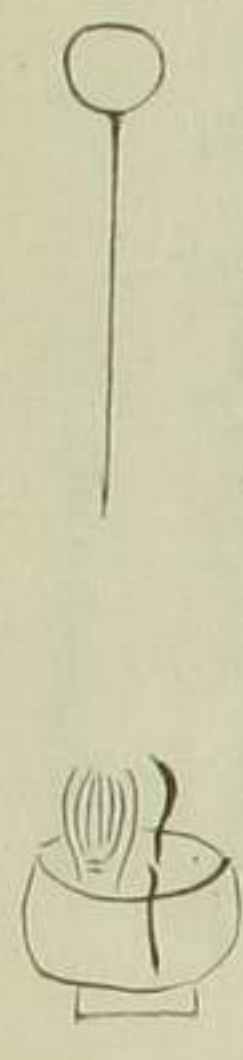
四角半盃五後中仕庄乃苗

四角半盃五後中仕庄

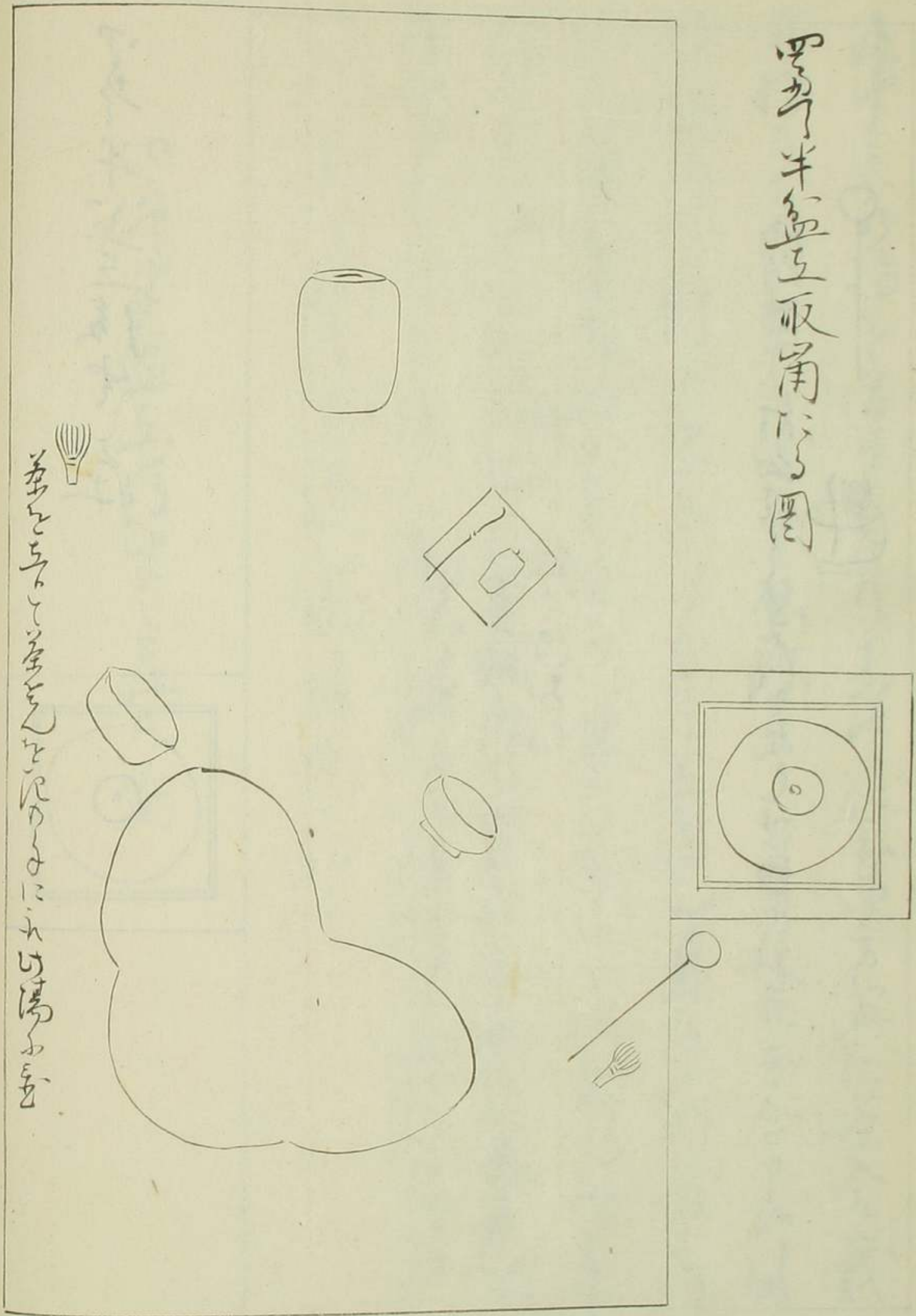


此庄は角五三の草乃茶子同様の仕合に五三仕  
 の茶碗より、茶道より、茶合より、茶合より

柄杓の行向は、二人の茶子仕合柄下二寸

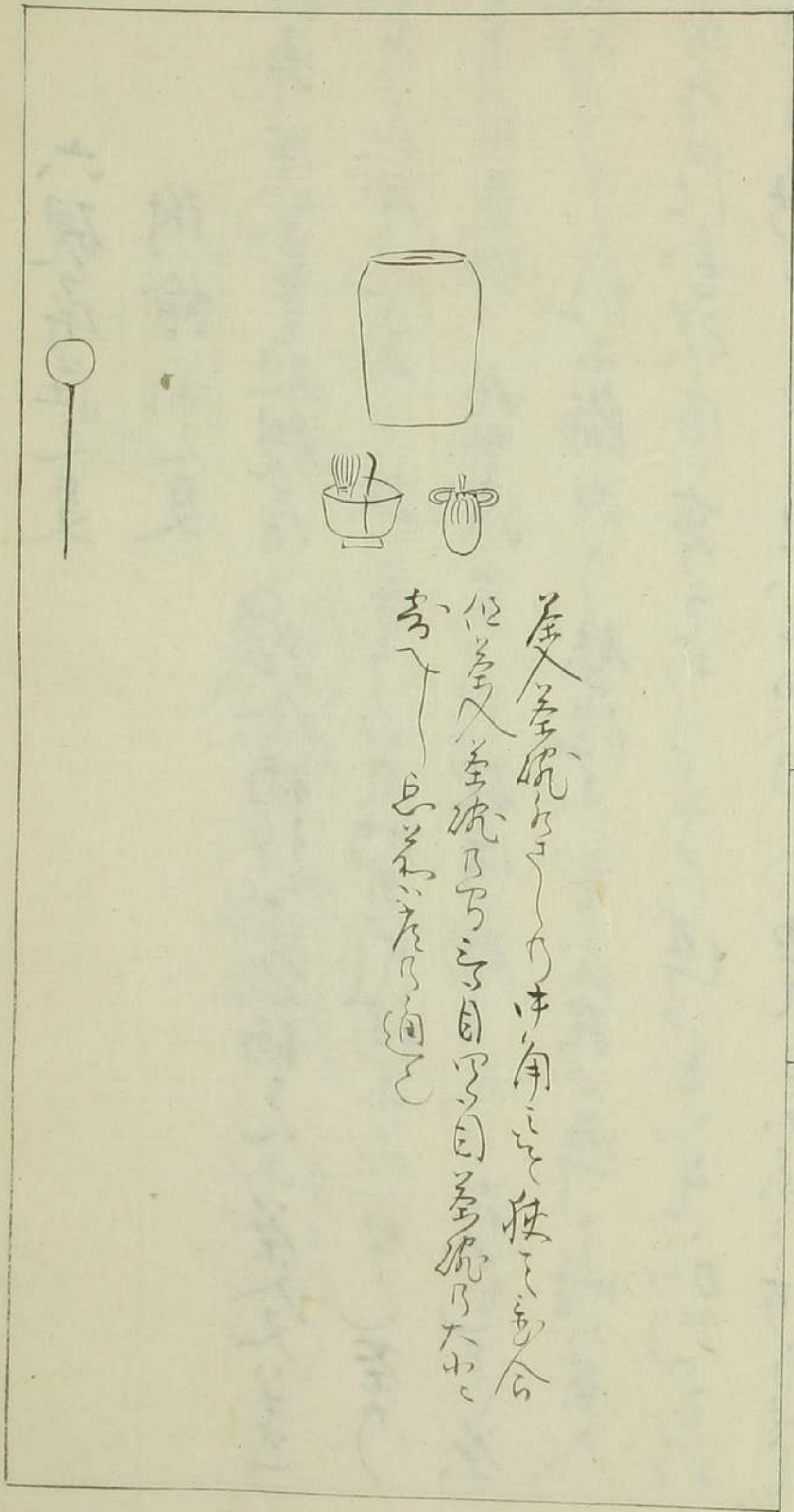


四角半盆互取角の圖



此の形は、茶碗の形に似て、大の湯呑に  
 用ひし。

四角半盆の茶碗の形



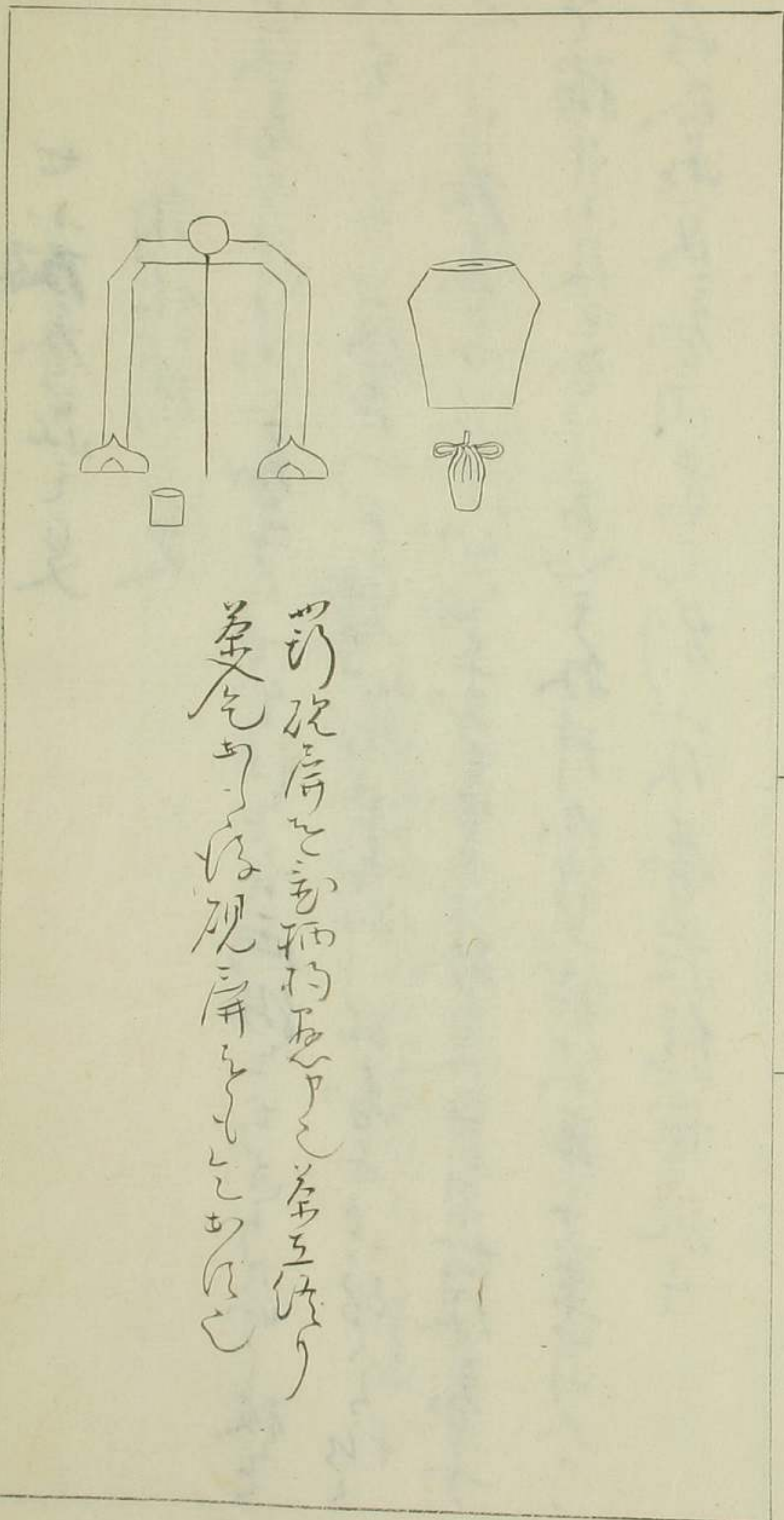
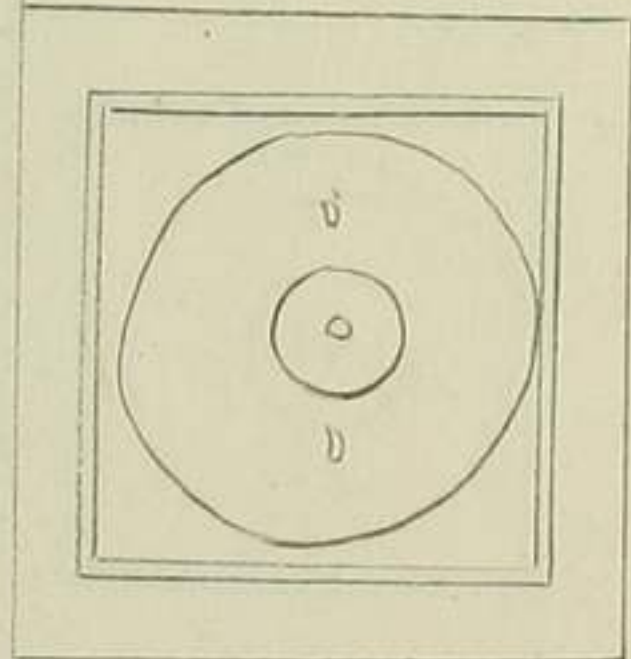
此の形は、茶碗の形に似て、大の湯呑に  
 用ひし。

六 硯屏莊之夏

附繪畫之夏

一 四角半架を以て硯屏を在合柄杓を懸柄を以て茶入又ハ茶  
 箱を在合之とありて致し之を以て凡て其の風情を在合中ニ茶入  
 五角半架外ハ其の城ノ中付硯屏ノ残ノ一ト茶入也中ニ茶  
 入ノ一ト中ニ好小端あり懸架ノ中ニ茶入ノ一ト中ニ茶入  
 茶入ノ一ト中ニ硯屏ノ高ノ一ト中ニ茶入ノ一ト中ニ茶入ノ一ト  
 道可也其ノ一ト中ニ硯屏ノ高ノ一ト中ニ茶入ノ一ト中ニ茶入ノ一ト  
 而中ニ茶入ノ一ト中ニ硯屏ノ高ノ一ト中ニ茶入ノ一ト中ニ茶入ノ一ト  
 之ト中ニ茶入ノ一ト中ニ硯屏ノ高ノ一ト中ニ茶入ノ一ト中ニ茶入ノ一ト

硯屏莊之畫



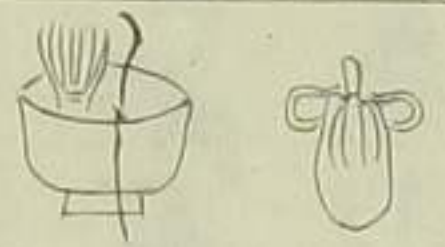
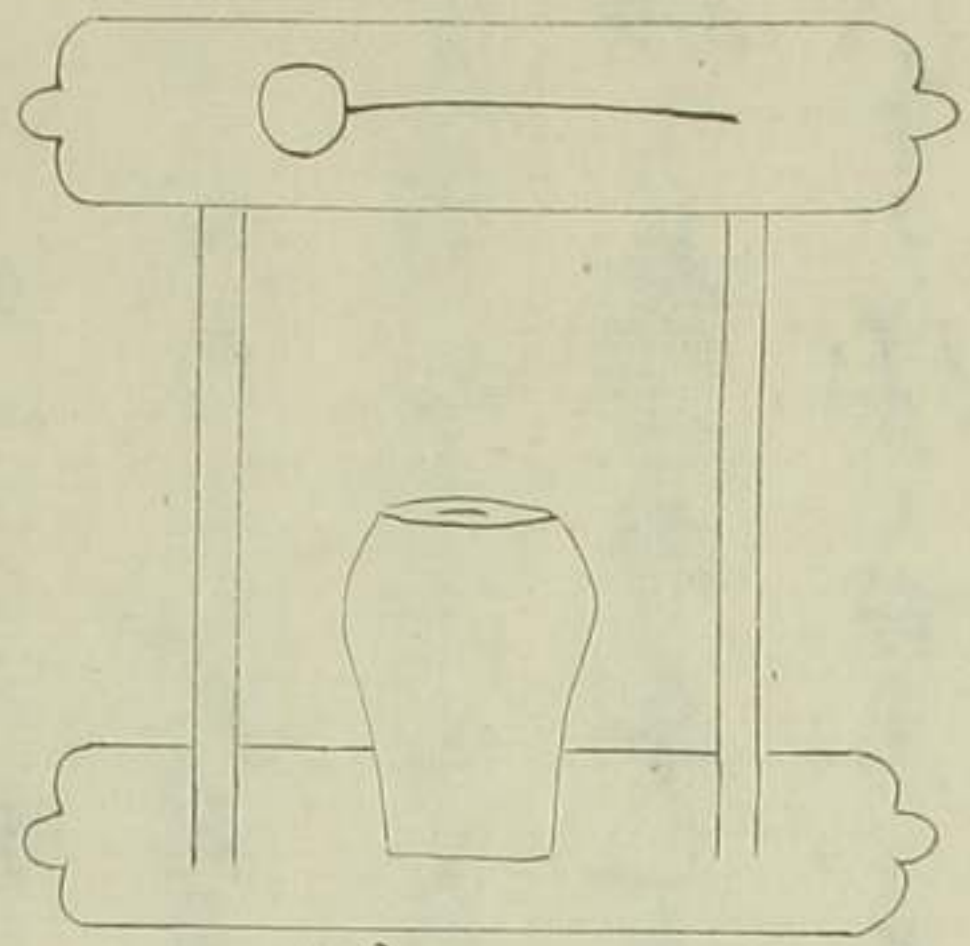
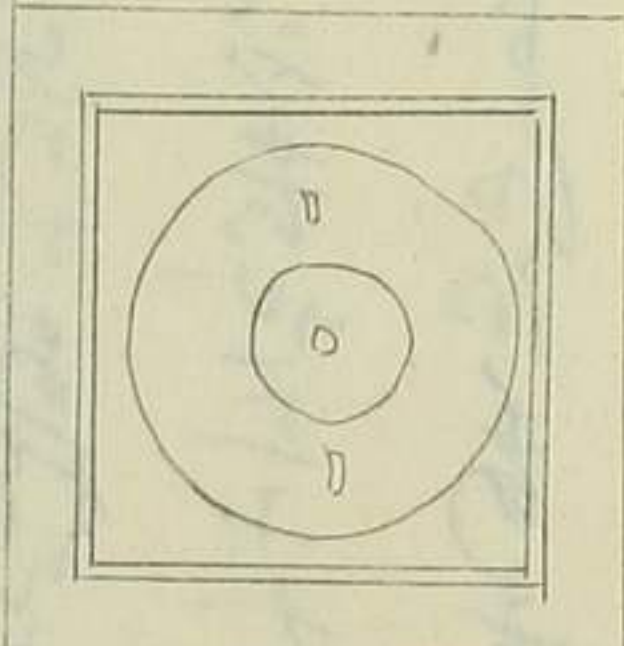
四角半架を以て硯屏を在合柄杓を懸柄を以て茶入又ハ茶  
 箱を在合中ニ茶入  
 五角半架外ハ其の城ノ中付硯屏ノ残ノ一ト茶入也中ニ茶  
 入ノ一ト中ニ茶入ノ一ト中ニ茶入ノ一ト中ニ茶入ノ一ト

七小及臺莊之圖

附繪圖之文

一 小及臺子といふ小臺子の下に柱を以て兩脚をもちしりて板を  
 入らしめし及弟のつらひ集り書しし小臺子のつらひは  
 へし及臺子といふしとあり臺子に板をもちしり及臺子  
 と稱す小及臺といふしとあり外丹繪架は架卓子臺司あり  
 并合及臺同前し別小及臺莊は信量記と

小及臺莊之圖

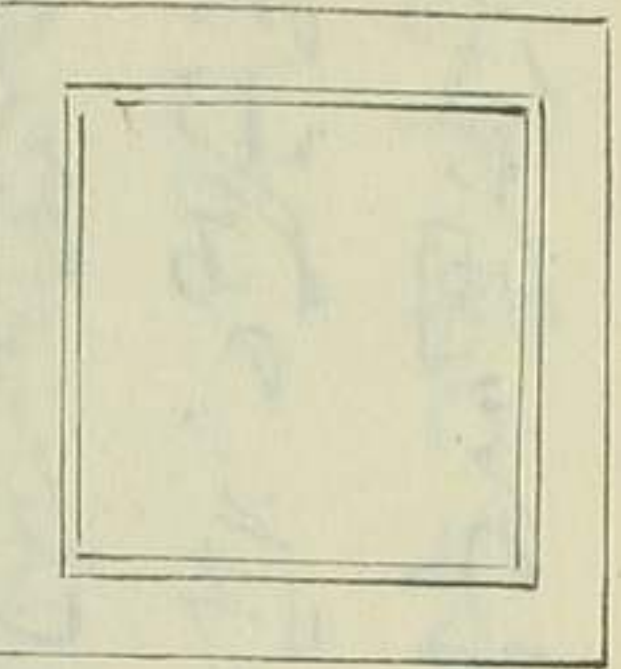


小及臺の臺合つり丹繪架架卓子司  
 外の臺前と外何の架あり臺合小  
 及臺同前



八丸を上下切惣心得度

一道で丸一巻に切上り切下り縁の向ひの比が店迄一尺七寸半の間をこし大目丸の小曲柱を建揚せしめて縁の向ひ  
縁迄一尺七寸半をこし丸一巻と一人目丸と遠一尺七寸半  
の物で長四角を早之巻の小曲柱に建せしめて一人目と遠の一寸七分  
半の間に依り古末を長四角を平に敷て上り切下り小曲柱を  
一尺四寸をこし縁の向ひに切上り切下り半の向ひをこし  
一寸七分半をこし縁の向ひに切上り切下り半の向ひをこし  
縁の向ひをこし又大目丸にして七寸半をこし縁の向ひに  
一尺四寸半をこし縁の向ひに切上り切下り半の向ひをこし



上り切下り縁の向ひに切上り切下り半の向ひをこし  
一寸七分半をこし縁の向ひに切上り切下り半の向ひをこし

九大目拵盆互毫天目拵合茶忌前之文

附音中書大目拵修圖之文

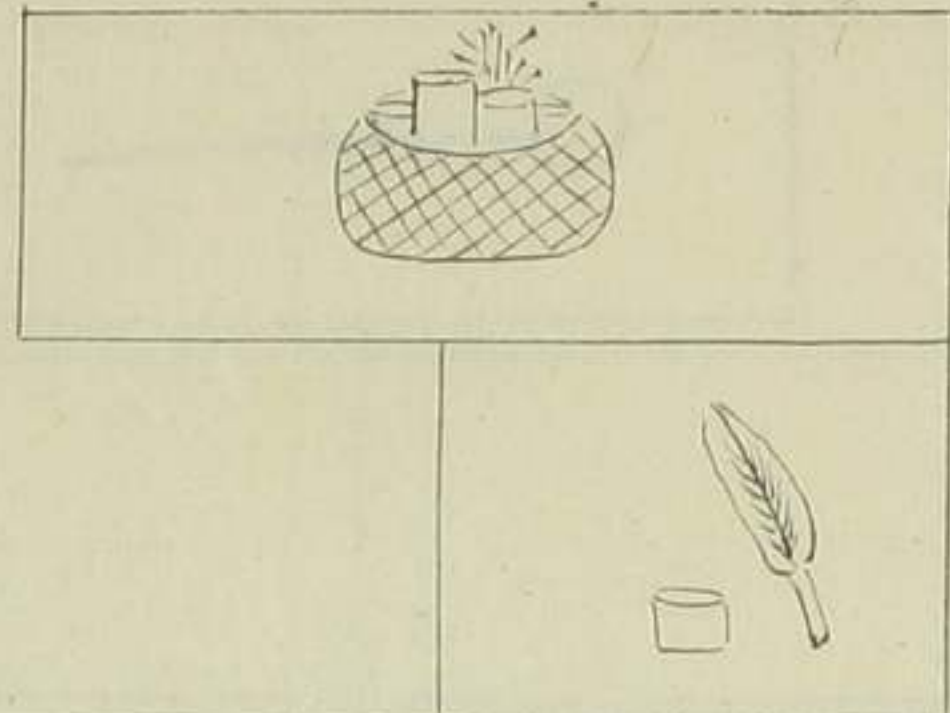
一音中書の云い丸一毫り方に茶を釣茶入茶碗を置き外に水  
 指を社中に入して多量の水を一切り茶碗を指し茶碗を茶入  
 の下りし茶碗を下りし茶碗を茶入の底に茶を互尺位迄  
 一六目拵の云い丸一毫り音中書丸一毫り茶を四ツ一尺寸七寸半切て  
 茶碗の七寸半半切茶を大目と小曲徑を五枚竹を茶道に  
 付茶碗小茶碗の茶を釣りし一拵利休仕出し世に茶碗を  
 元所して仕立る茶碗の茶を茶碗の茶の如く行きて  
 在る大目少茶碗茶碗の外茶碗の如く一拵合茶碗の長尺に

用中書丸一毫り一毫りの云い丸一毫り一拵利休仕出し世に茶碗を  
 大目拵を修圖し記す

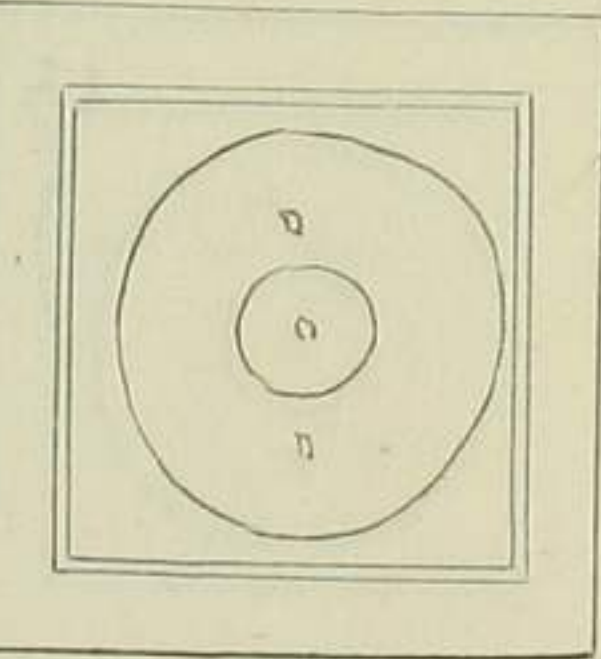
一昔中書丸一毫り茶道に茶を付茶碗を茶碗の如く行きて  
 一〇曲徑を合茶道に茶を付茶碗を茶碗の如く行きて  
 行口面補竹拵竹拵を節の如く行きて用初る大目拵と  
 一〇曲徑の詞に茶一尺を四寸して茶碗の如く行きて大目拵と  
 云に依る大目拵と云ふ云々の竹拵竹拵茶碗拵茶碗拵  
 為なり

昔中書丸一毫り茶碗の如く行きて茶碗拵

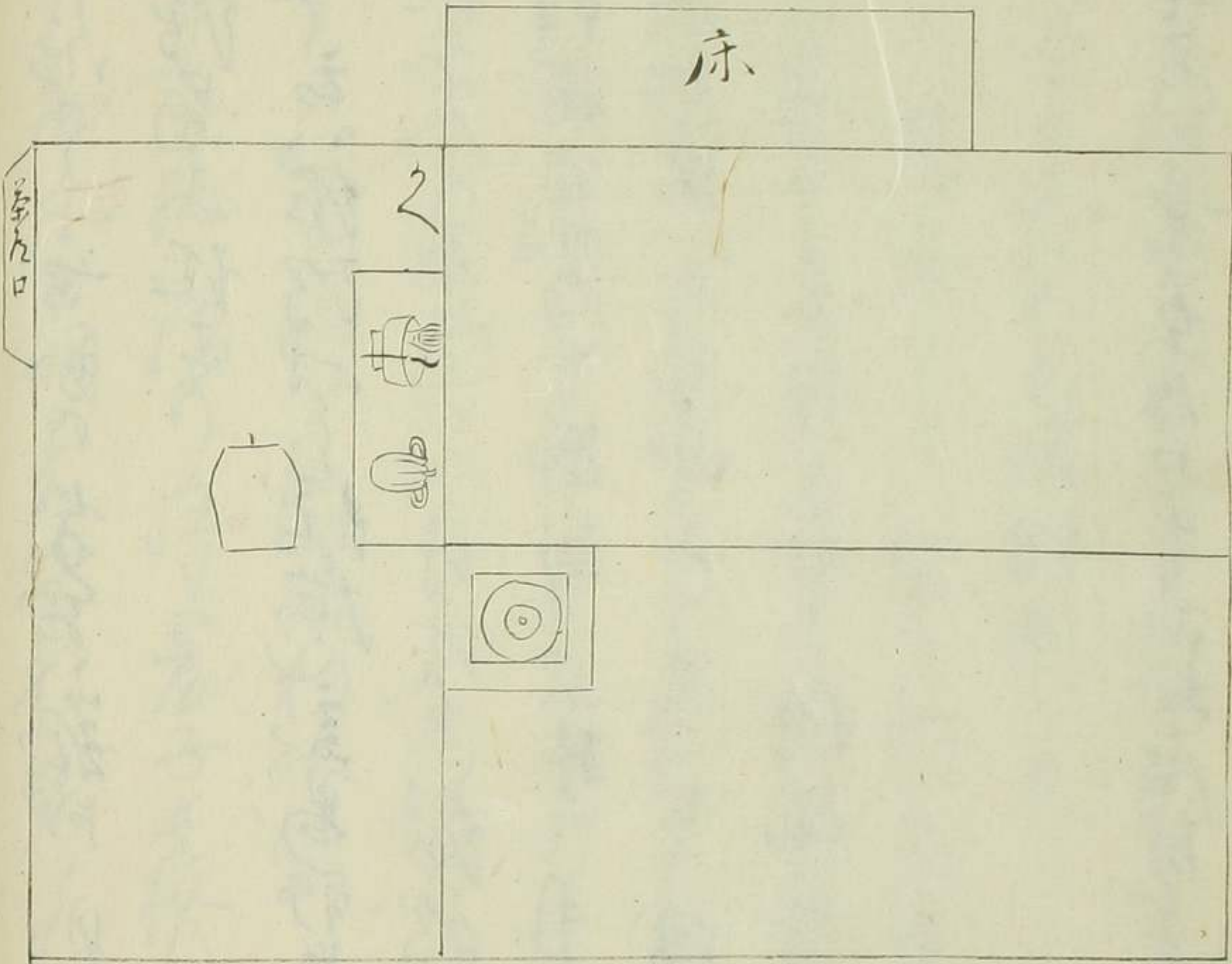
大日之圖



印中に上は茶小茶中下は香合下羽第也圖也合也  
 似羽第一箭小丸也一は羽之右羽ハ羽第柳也一は羽也  
 の方柄を以て一也右は羽之右羽之方ハ香合又ハ  
 滋養小丸合也一は中下は香合也羽第ハ  
 合也又印中ハ上は茶小茶中下は香合也一は  
 秋同也



床



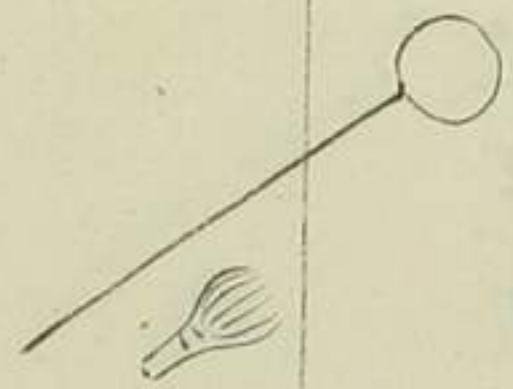
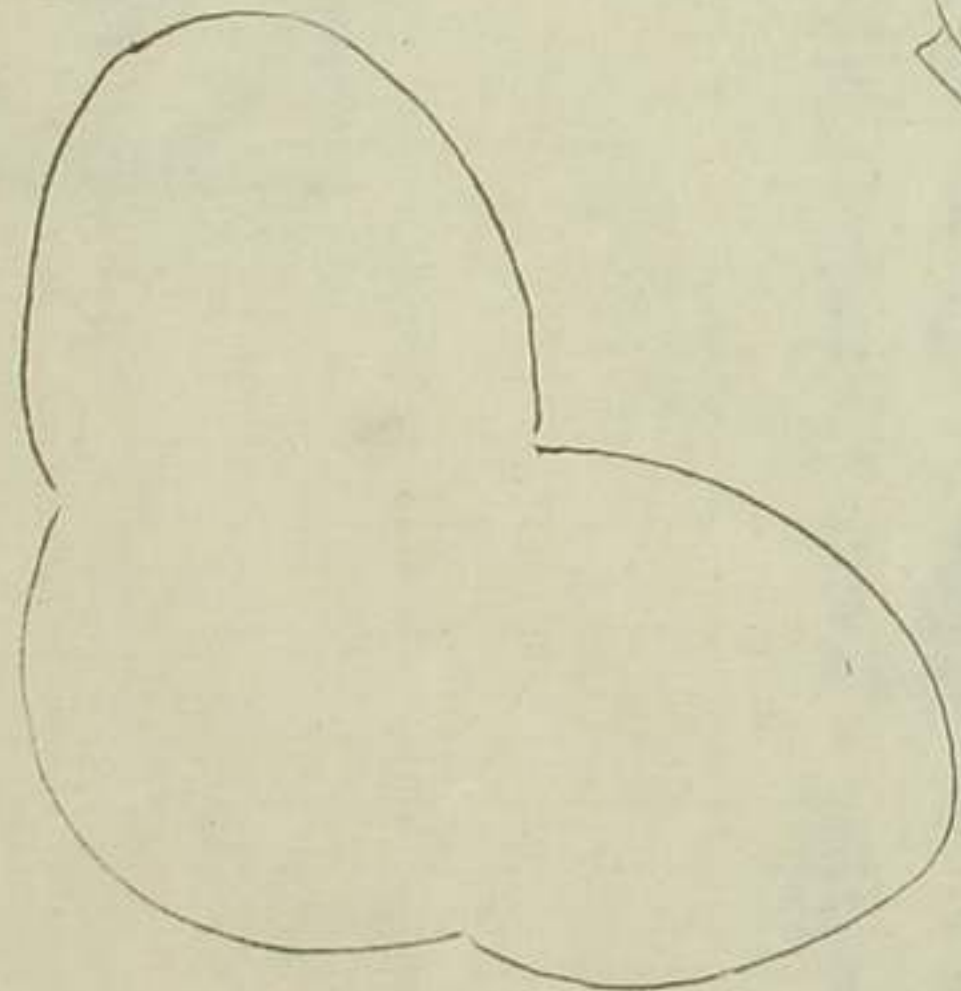
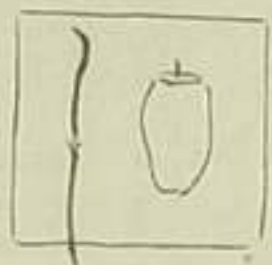
四方盆を天目茶の茶



真ん中の茶は立ちあがり茶を全くと  
 かけるもよくまける天目茶は茶  
 仕込し天目茶の作りは茶園主  
 茶の作りは茶園主の茶園主  
 茶の作りは茶園主の茶園主  
 又茶園主の茶園主の茶園主

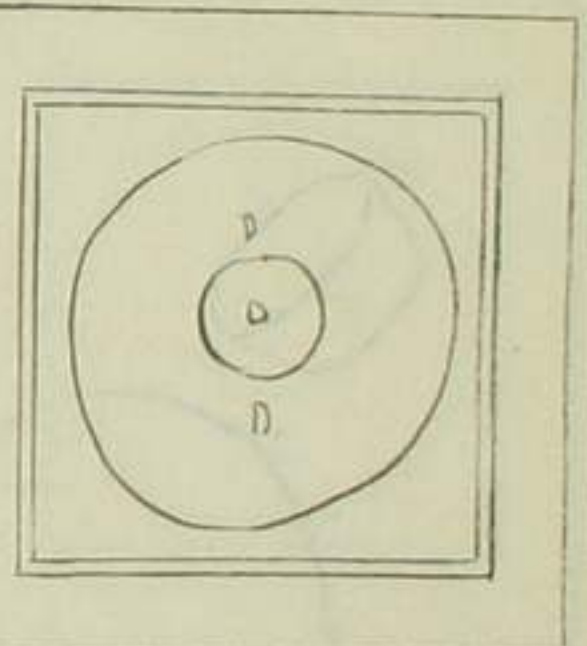
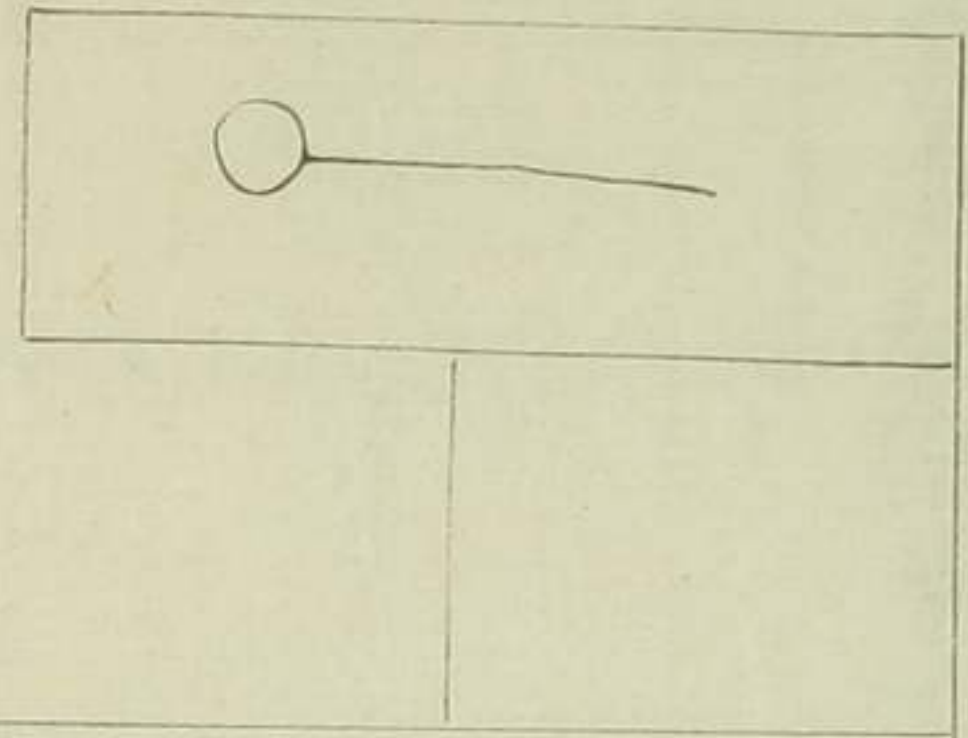
盆を天目茶の茶

茶巾水指の上は茶



茶園主の茶園主の茶園主  
 茶園主の茶園主の茶園主  
 茶園主の茶園主の茶園主  
 茶園主の茶園主の茶園主  
 茶園主の茶園主の茶園主

大日常之盆五之圖

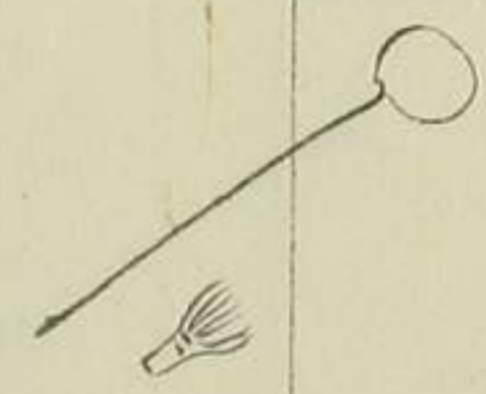
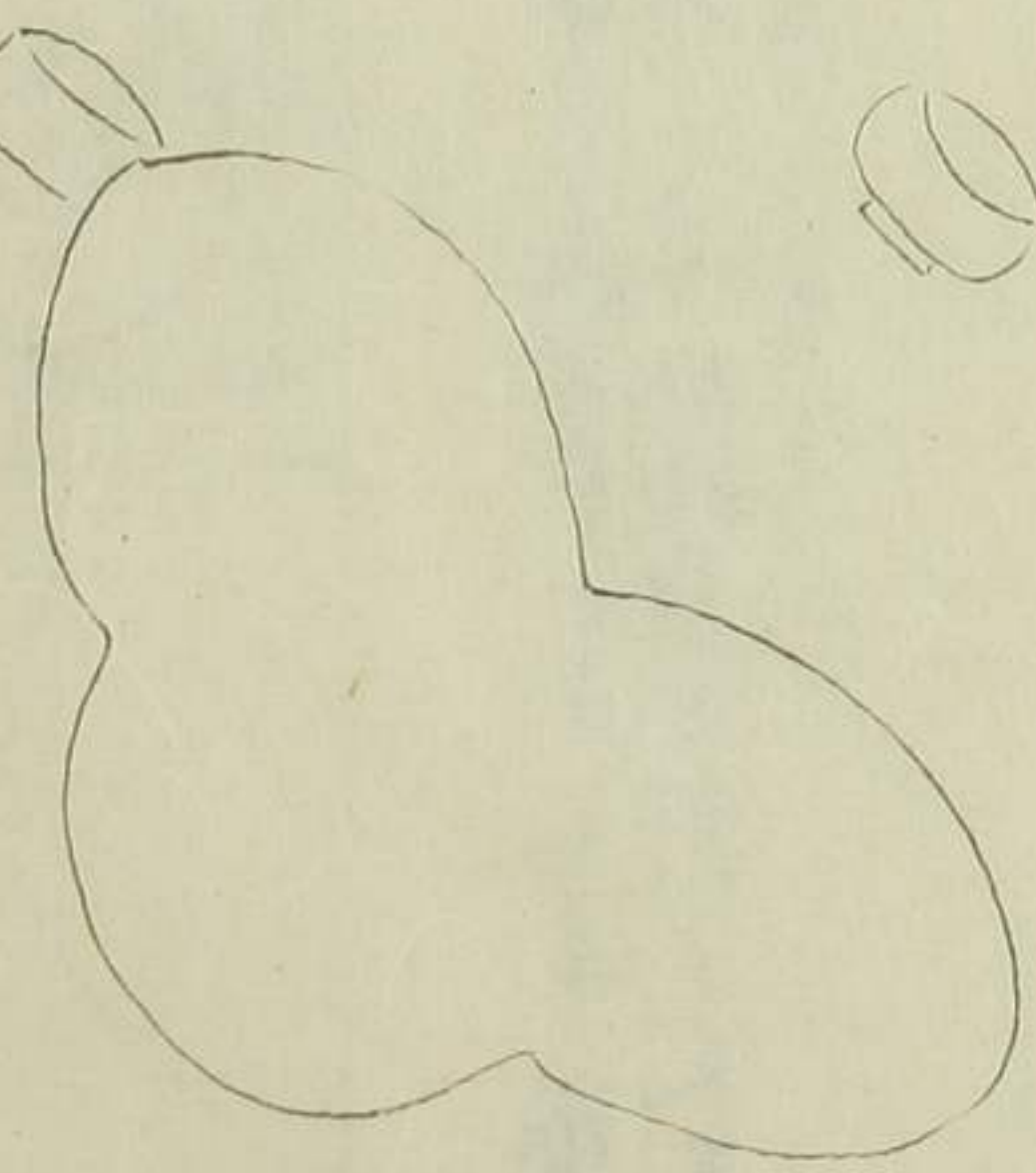
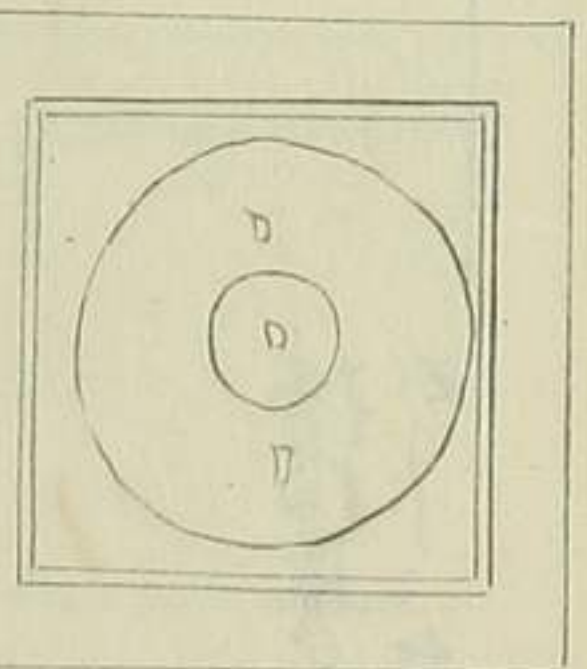
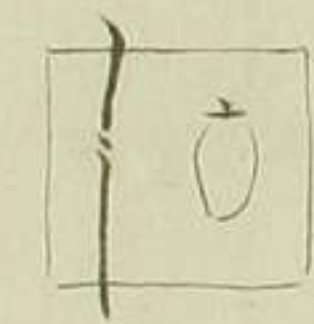
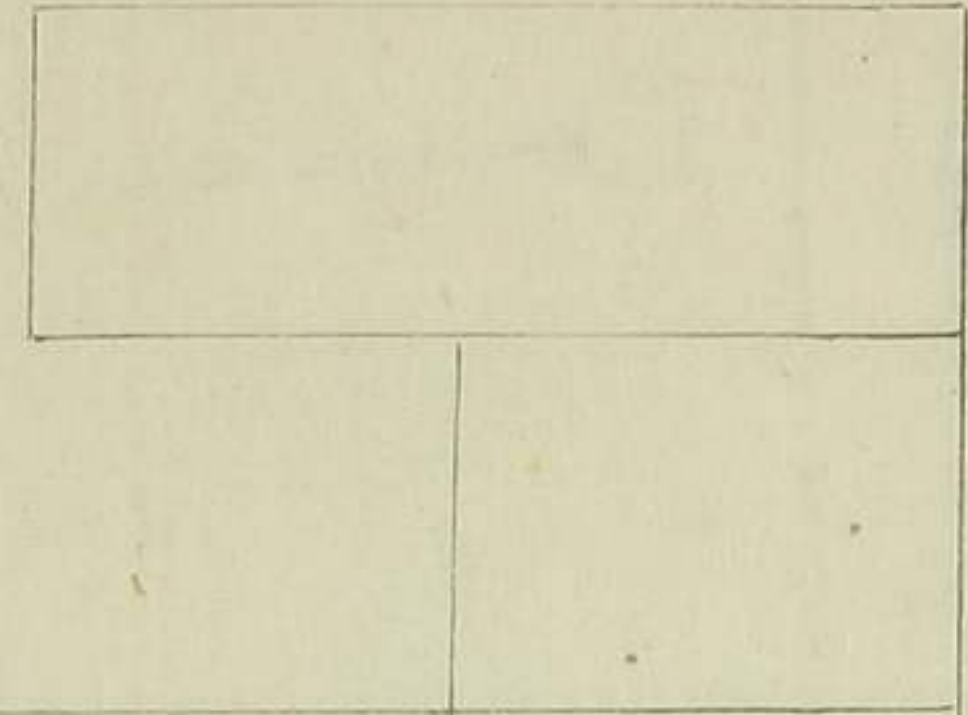


後世亦の如きはに在はし圖五の  
 前日月塔の如し其のそしは



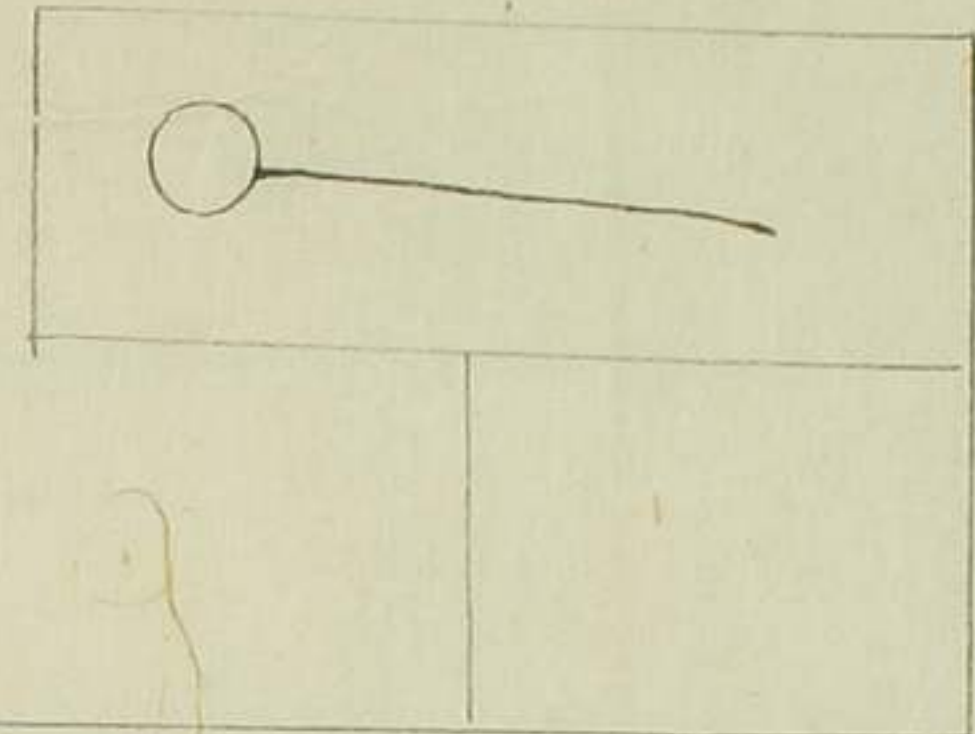
筆瓶の如きは道子等の日月塔  
 並にしる場と可也

大月盆五之角之圖

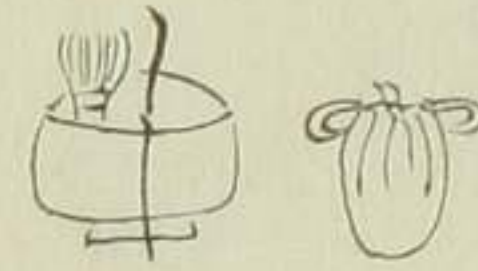


筆瓶の如きは道子等の日月塔  
 並にしる場と可也

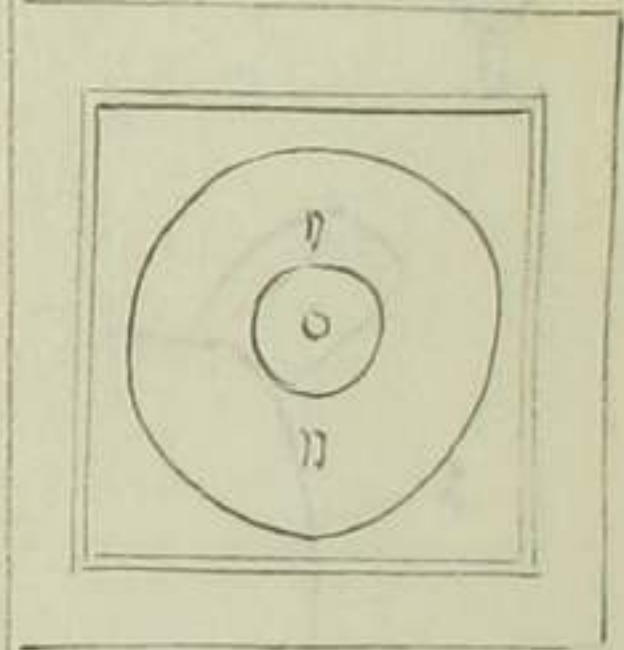
六月草の在り



五月草の在り  
花の在り  
五月草の在り  
花の在り  
五月草の在り  
花の在り

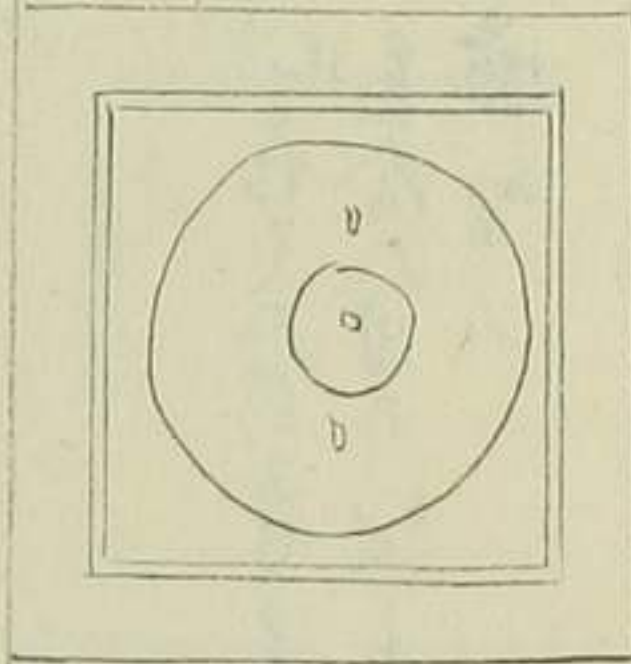
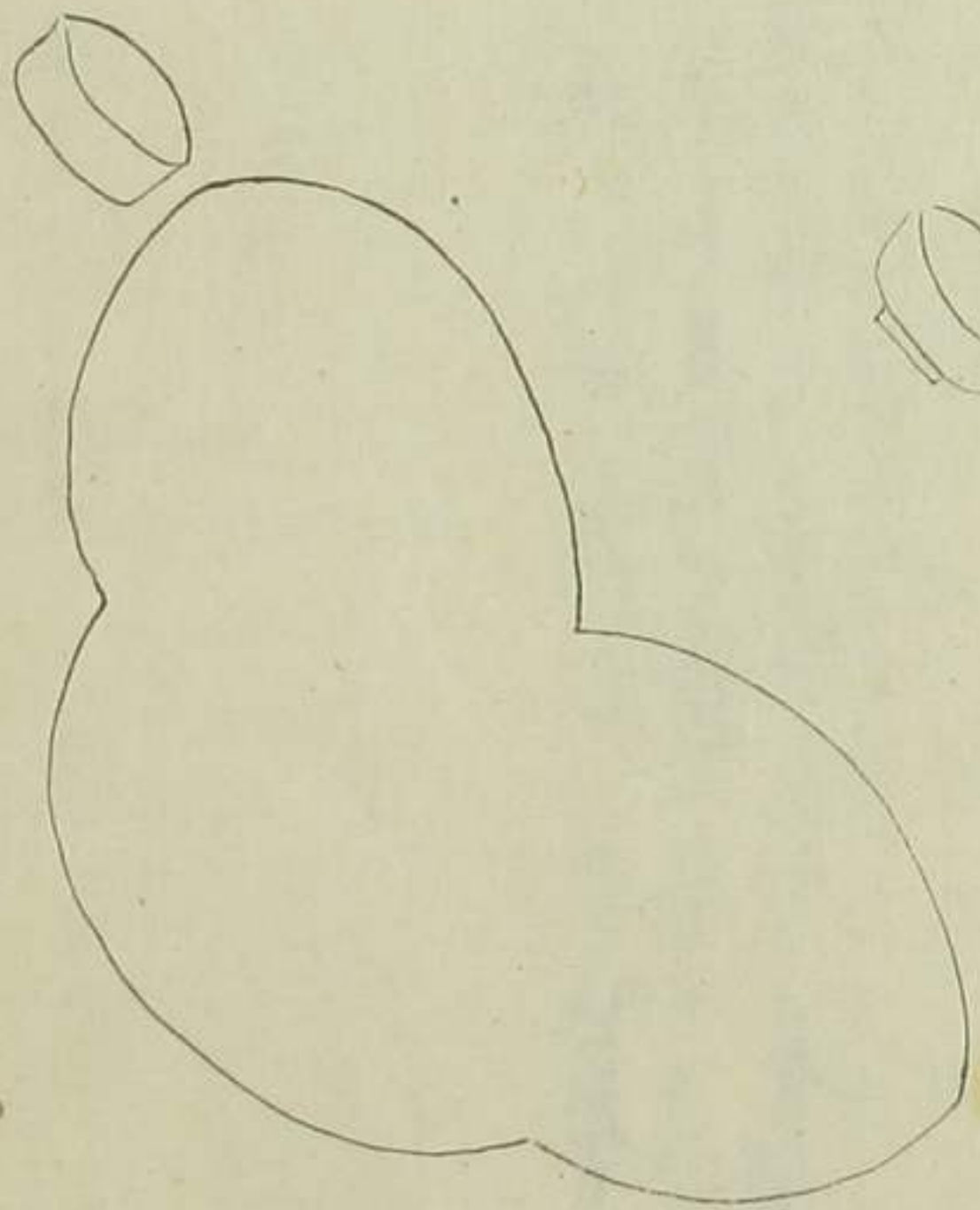
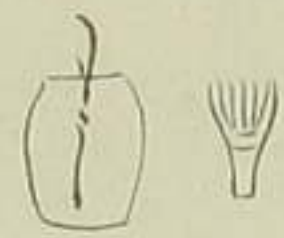
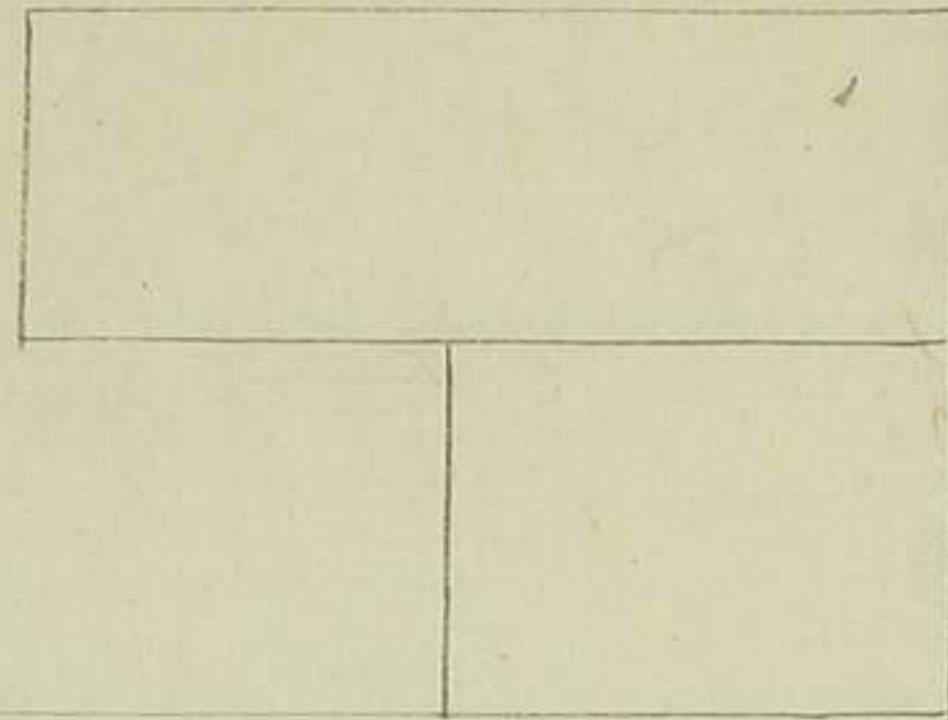


五月草の在り  
花の在り  
五月草の在り  
花の在り  
五月草の在り  
花の在り

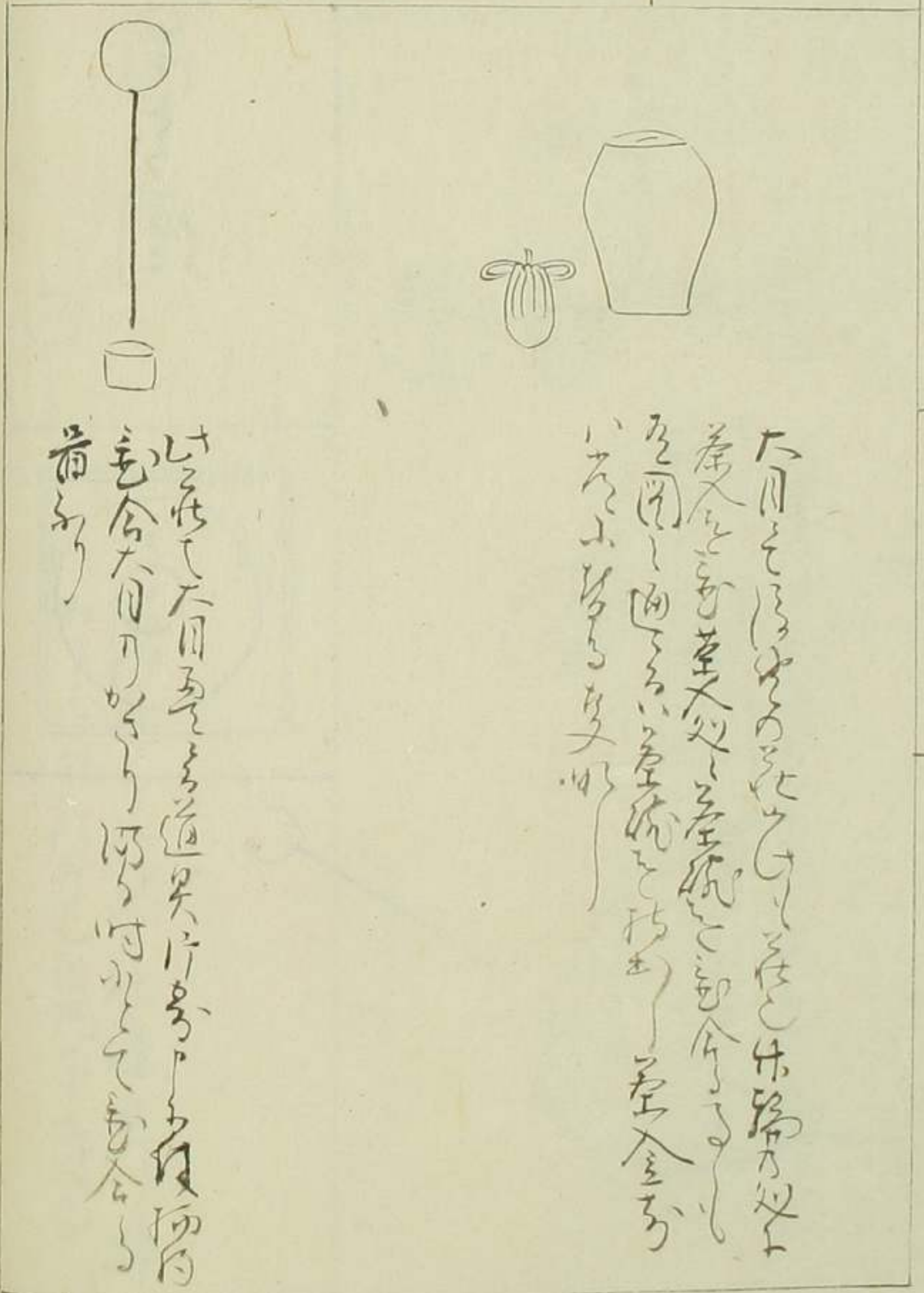
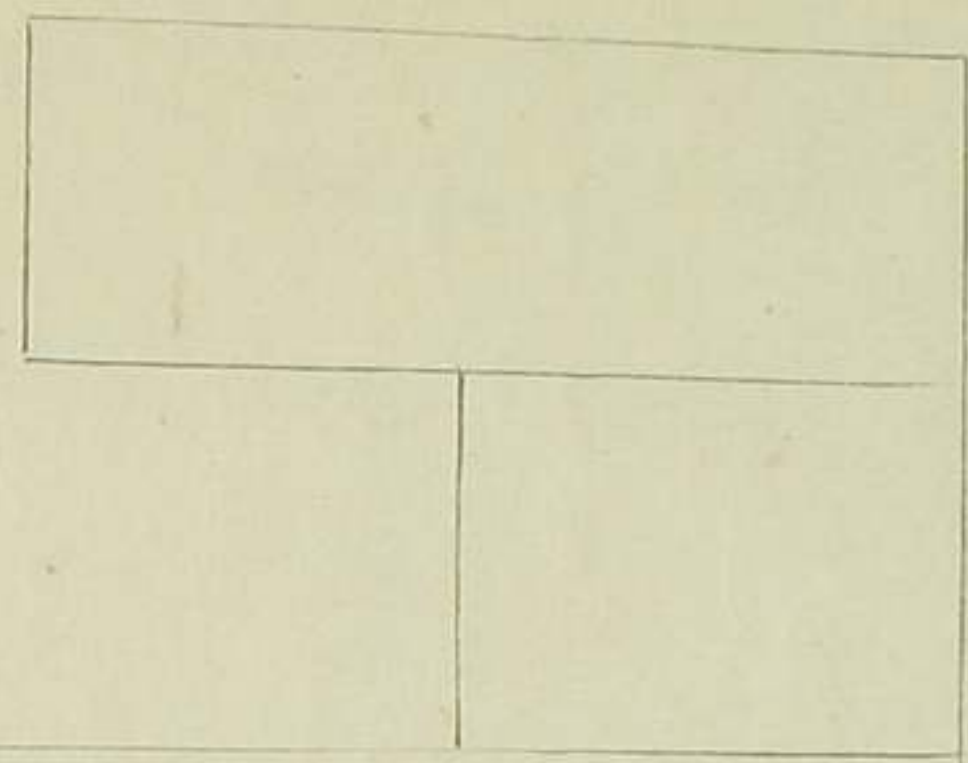


五月草の在り  
花の在り  
五月草の在り  
花の在り  
五月草の在り  
花の在り

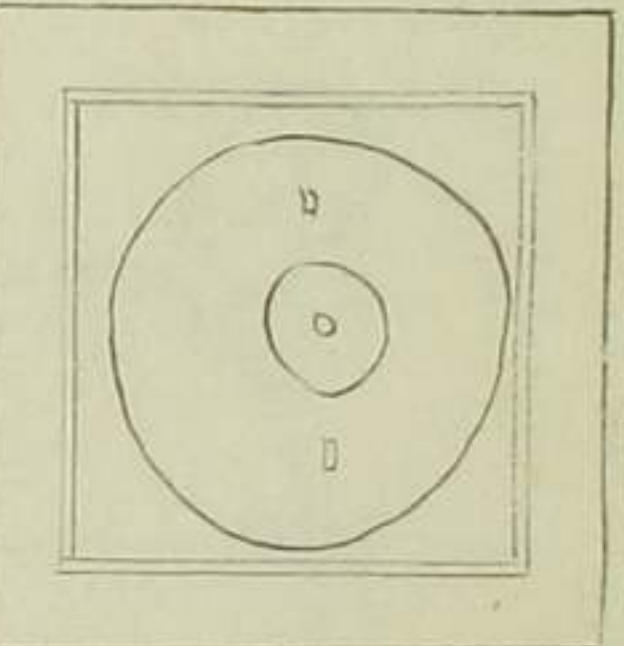
六月草の在り



石月如小鳥不若今  
 若り又、香可、茶在  
 何るも、舟、も、の、  
 及、も、も、の、信、前、  
 ね、と、

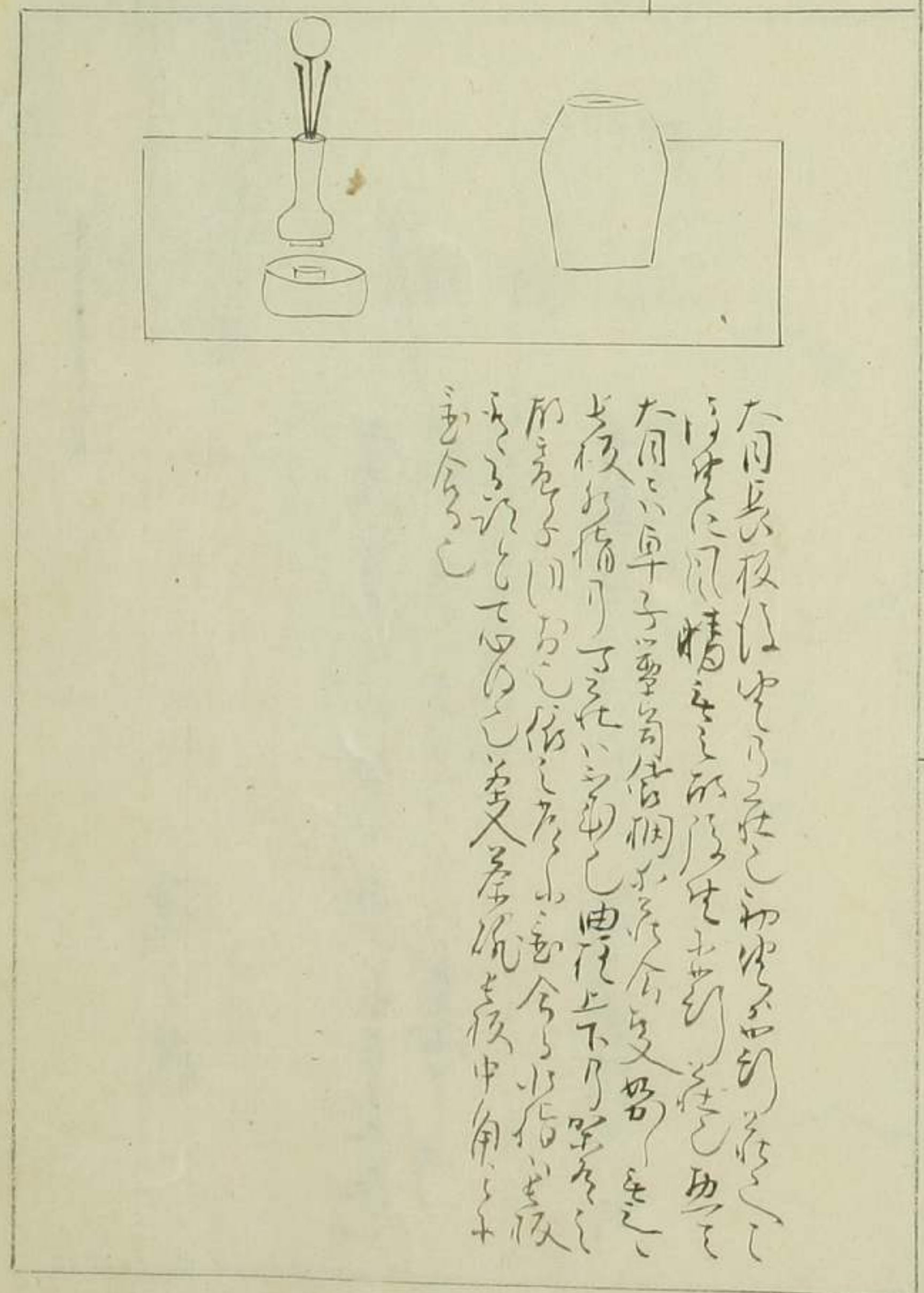
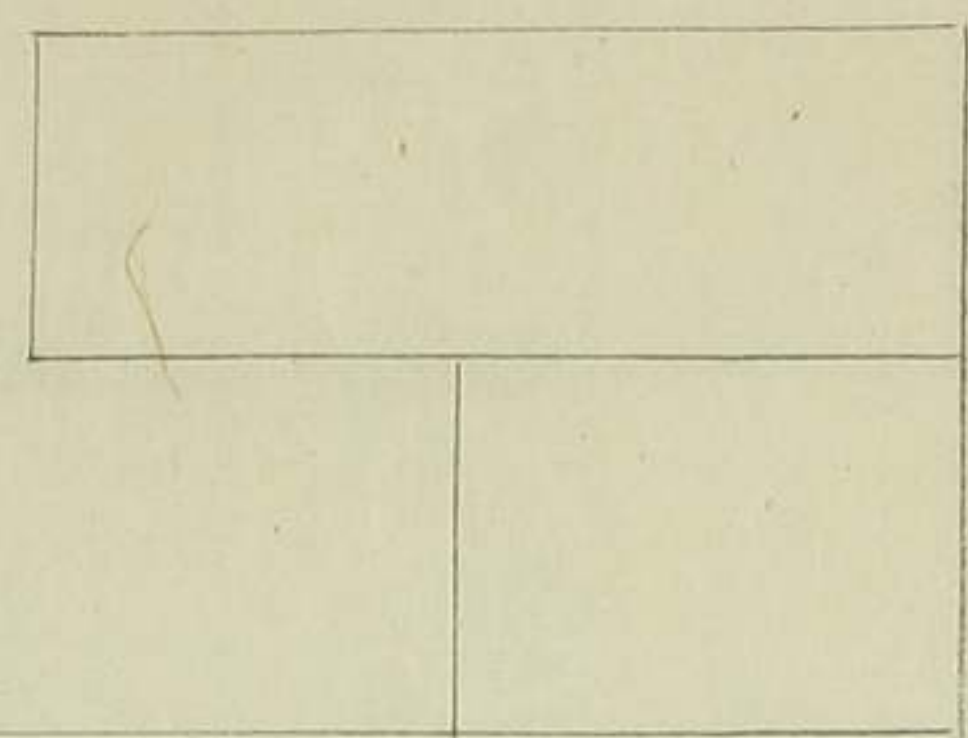


大目と信、舟、の、花、の、し、は、は、し、舟、路、の、以、上、  
 養、又、を、舟、を、養、又、以、上、を、舟、路、の、以、上、  
 舟、路、の、以、上、舟、路、の、以、上、舟、路、の、以、上、  
 舟、路、の、以、上、舟、路、の、以、上、舟、路、の、以、上、

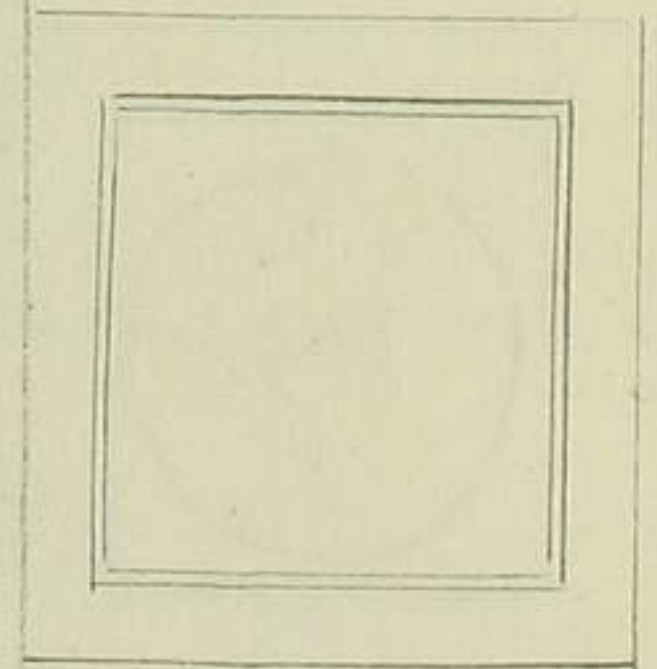


舟、路、の、以、上、舟、路、の、以、上、舟、路、の、以、上、  
 舟、路、の、以、上、舟、路、の、以、上、舟、路、の、以、上、  
 舟、路、の、以、上、舟、路、の、以、上、舟、路、の、以、上、

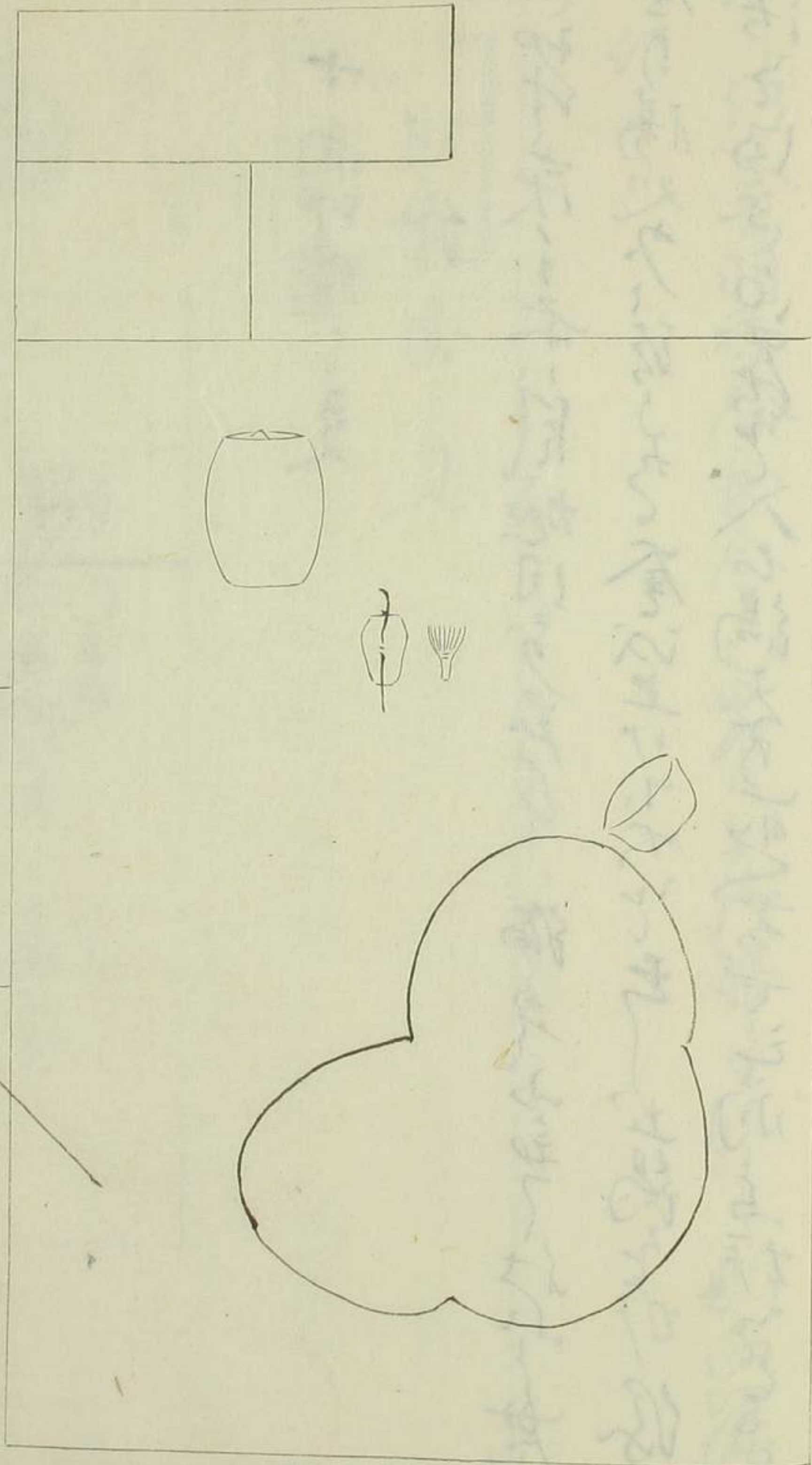
大目長板庄之備



大目長板庄、舟、路、の、以、上、舟、路、の、以、上、舟、路、の、以、上、  
 舟、路、の、以、上、舟、路、の、以、上、舟、路、の、以、上、  
 舟、路、の、以、上、舟、路、の、以、上、舟、路、の、以、上、

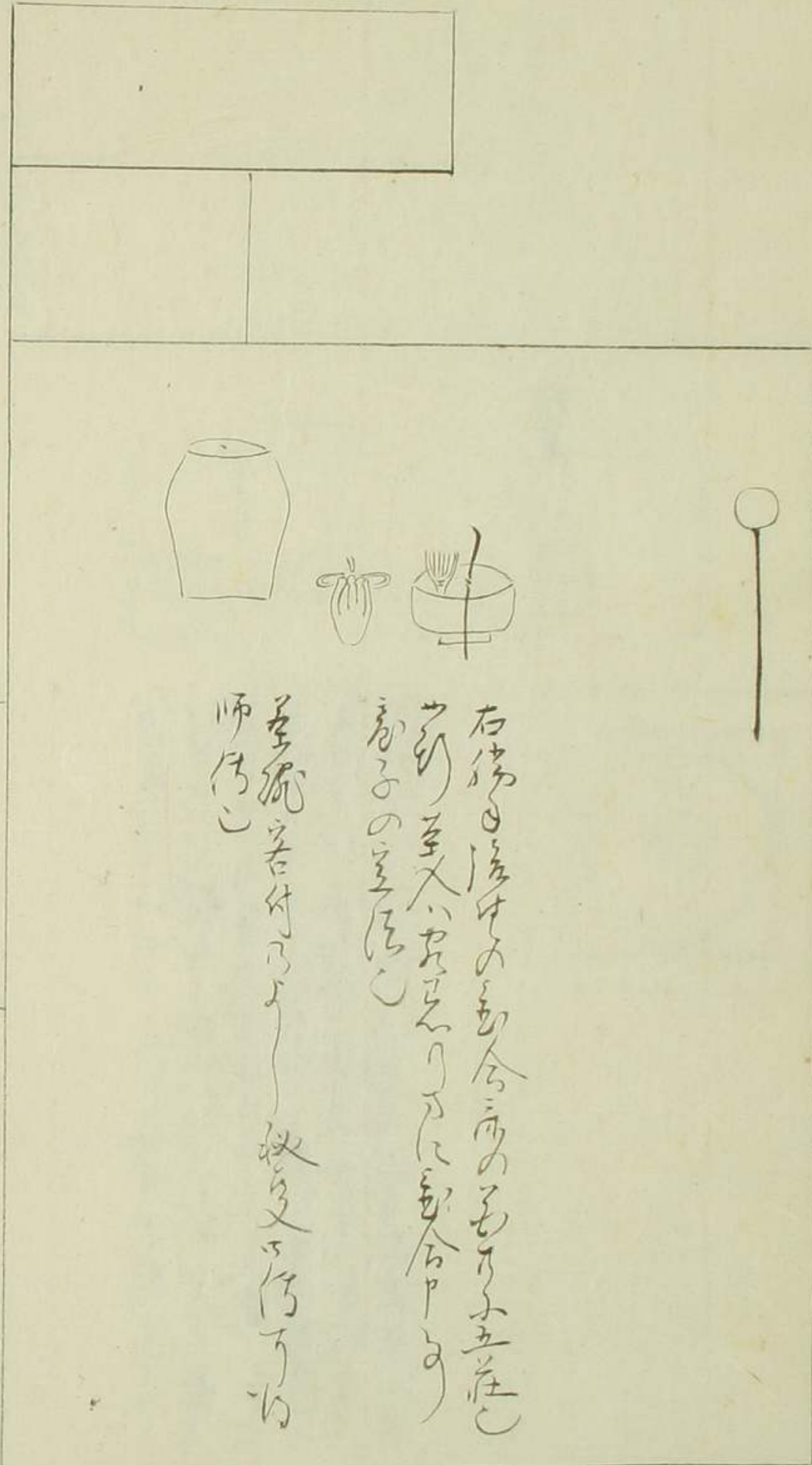


右月六佛子立花之圖と番  
但差違ふる佛子立花也



客の方

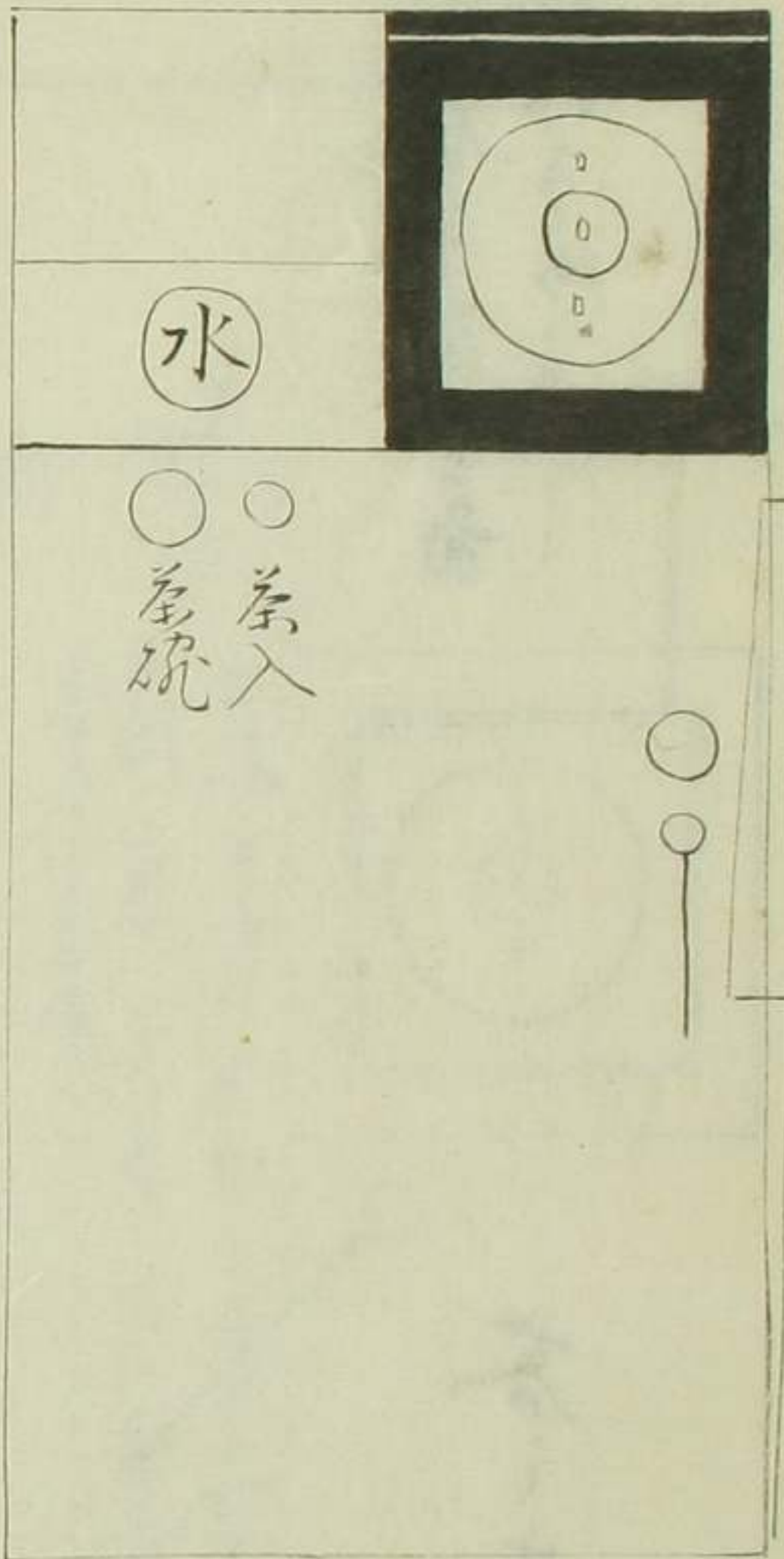
大月七佛子之圖



客の方

右佛子立花中の物合の意ありしに  
其の意入るるを以て此の意合  
佛子の意合也  
是流客付のよき秋文の付る  
師付也



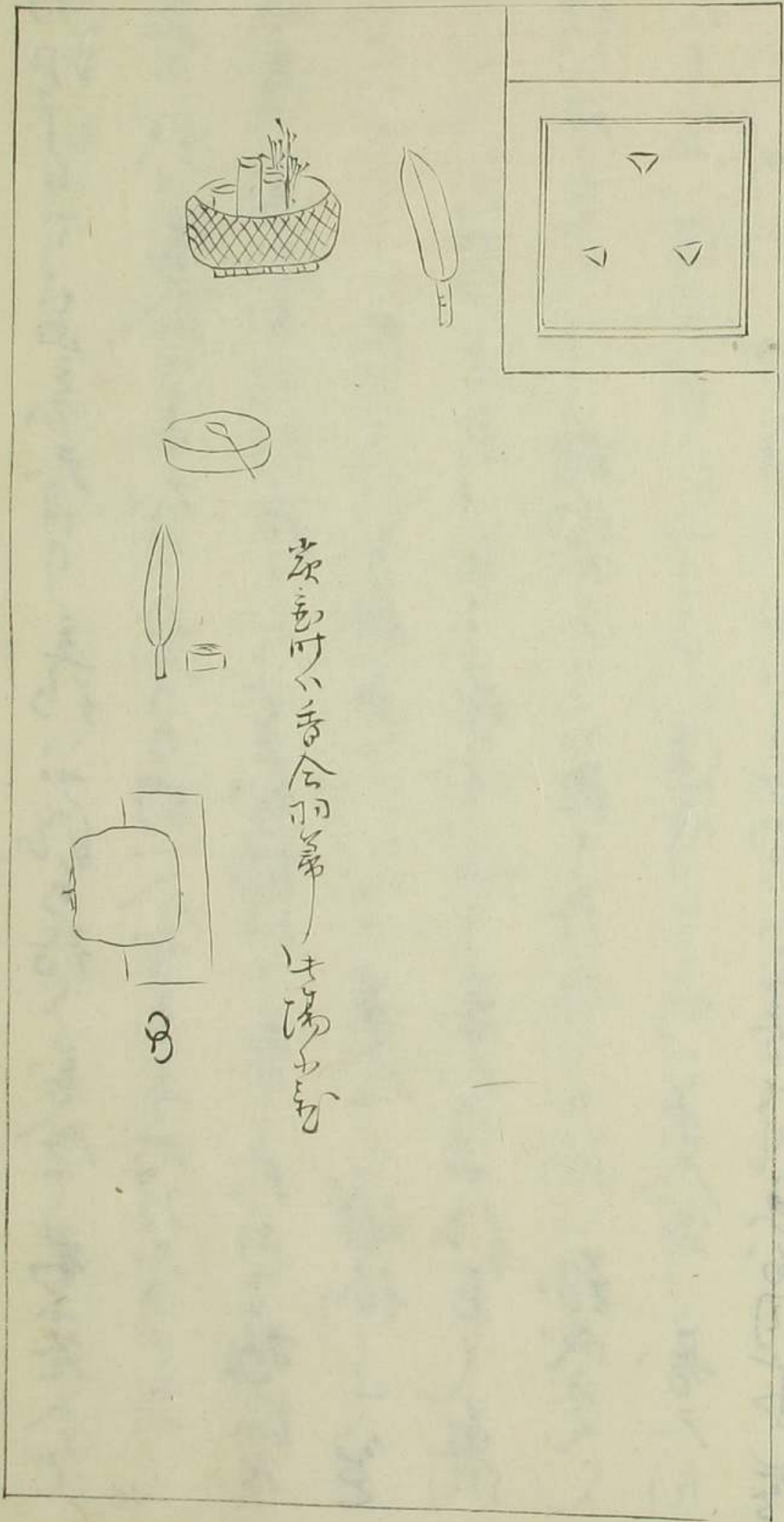


十向印壇之図

附繪圖之図

一向印初は床の間の風爐に香を焚く。編を少くして焚く。是  
 古釜の湯を少く焚く。釜に少く下火を焚く。土鍋を焚く。縁  
 へ湯を少く焚く。白灰を入。土鍋の湯を焚く。此の湯を焚く。

土鍋の湯を焚く。此の湯を焚く。此の湯を焚く。此の湯を焚く。  
 土鍋の湯を焚く。此の湯を焚く。此の湯を焚く。此の湯を焚く。  
 土鍋の湯を焚く。此の湯を焚く。此の湯を焚く。此の湯を焚く。



土鍋の湯を焚く。此の湯を焚く。此の湯を焚く。此の湯を焚く。

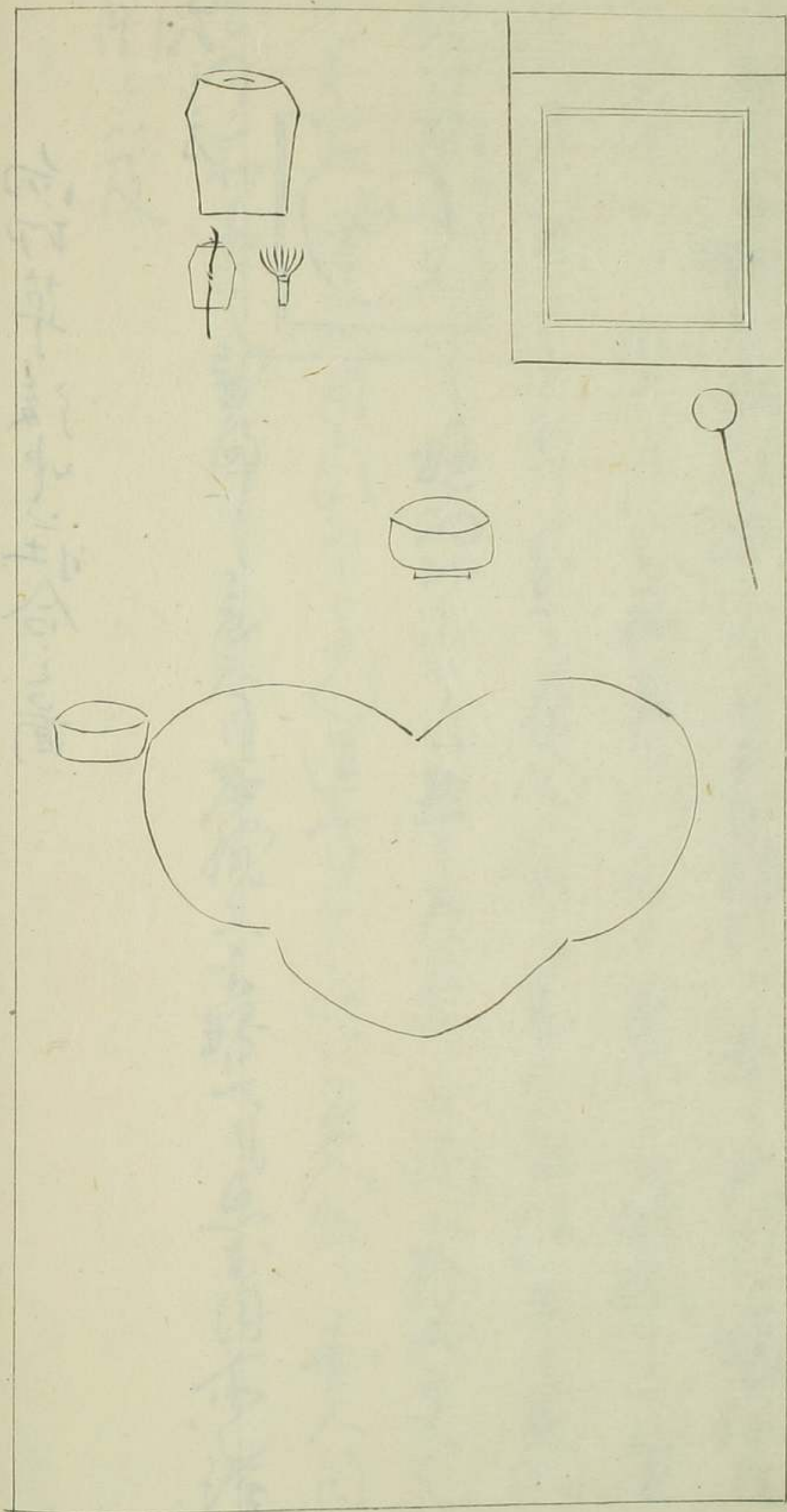


向印

茶道具取崩し器

茗り方

茶道具取崩し

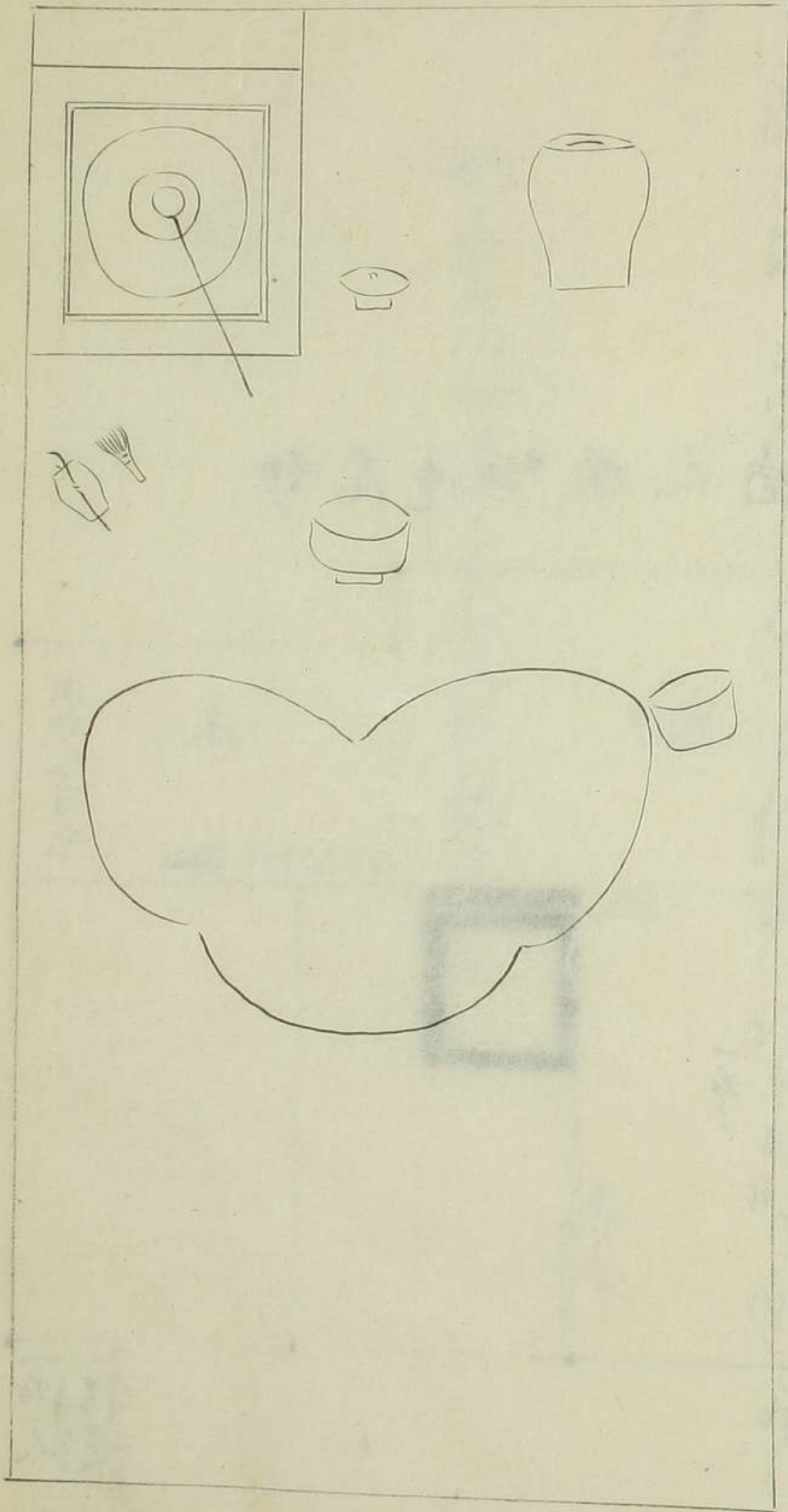


十一向切石勝手爐之夏

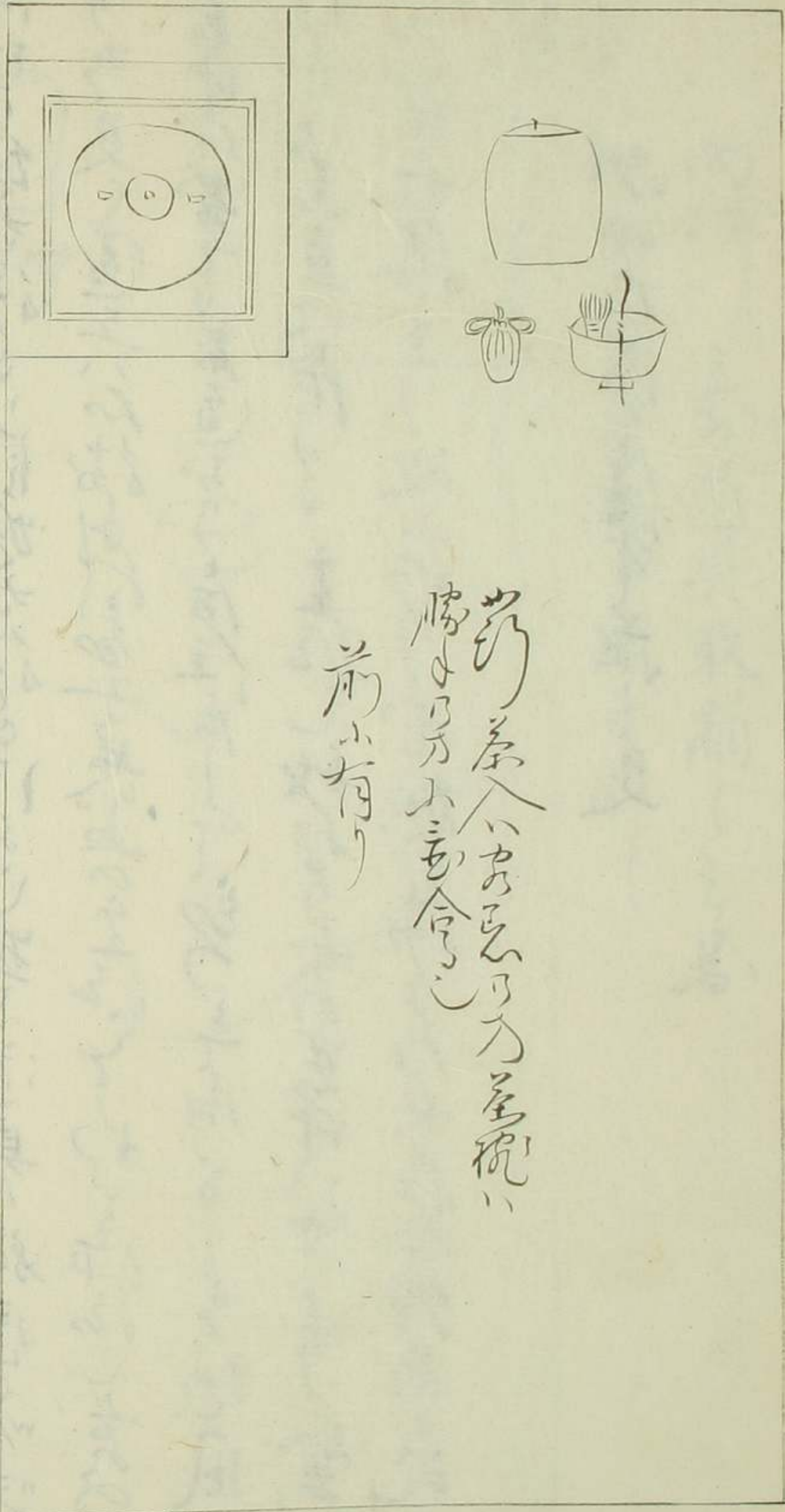
附繪箇之夏

一向切石勝手爐の風爐右勝手同かし扱て道具り御用を吟味  
 可なり夏し遠兵六心勝手長蓋の室法なり扱る作法し夏  
 室中に茶を茶通する居居法して扱るて所なりも其風  
 炉直に直直に居るも室法し扱骨上にお茶を注ぎたり  
 風爐右勝手り扱るなり心勝手右勝手及具は合繪箇に記  
 次

向印右勝手後作在し夏



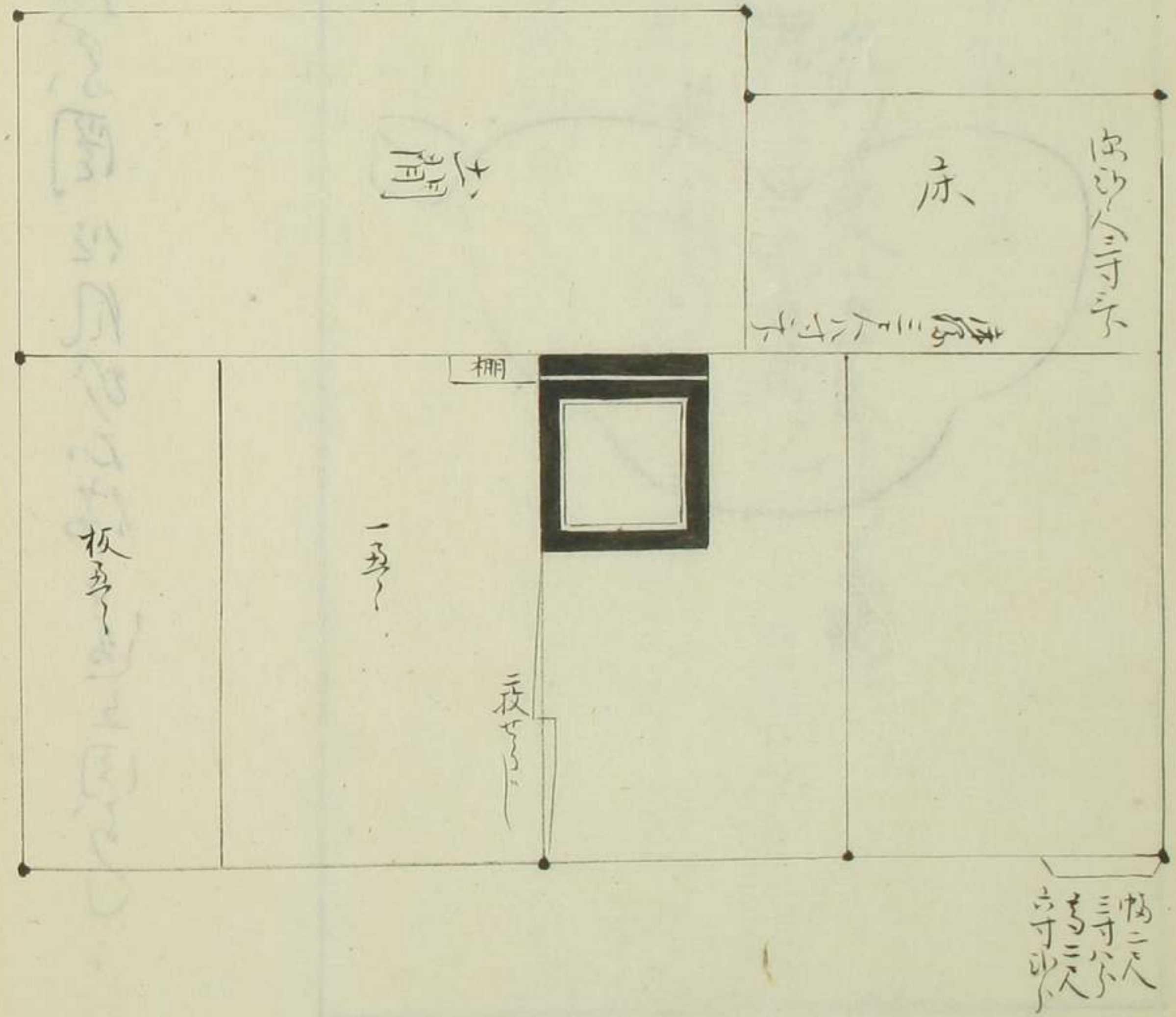
白印の湯と清とを南に不問  
 但凡が心傷と清と同なり



右  
 三  
 方

茶入の茶を  
 湯より乃ち  
 前小有り

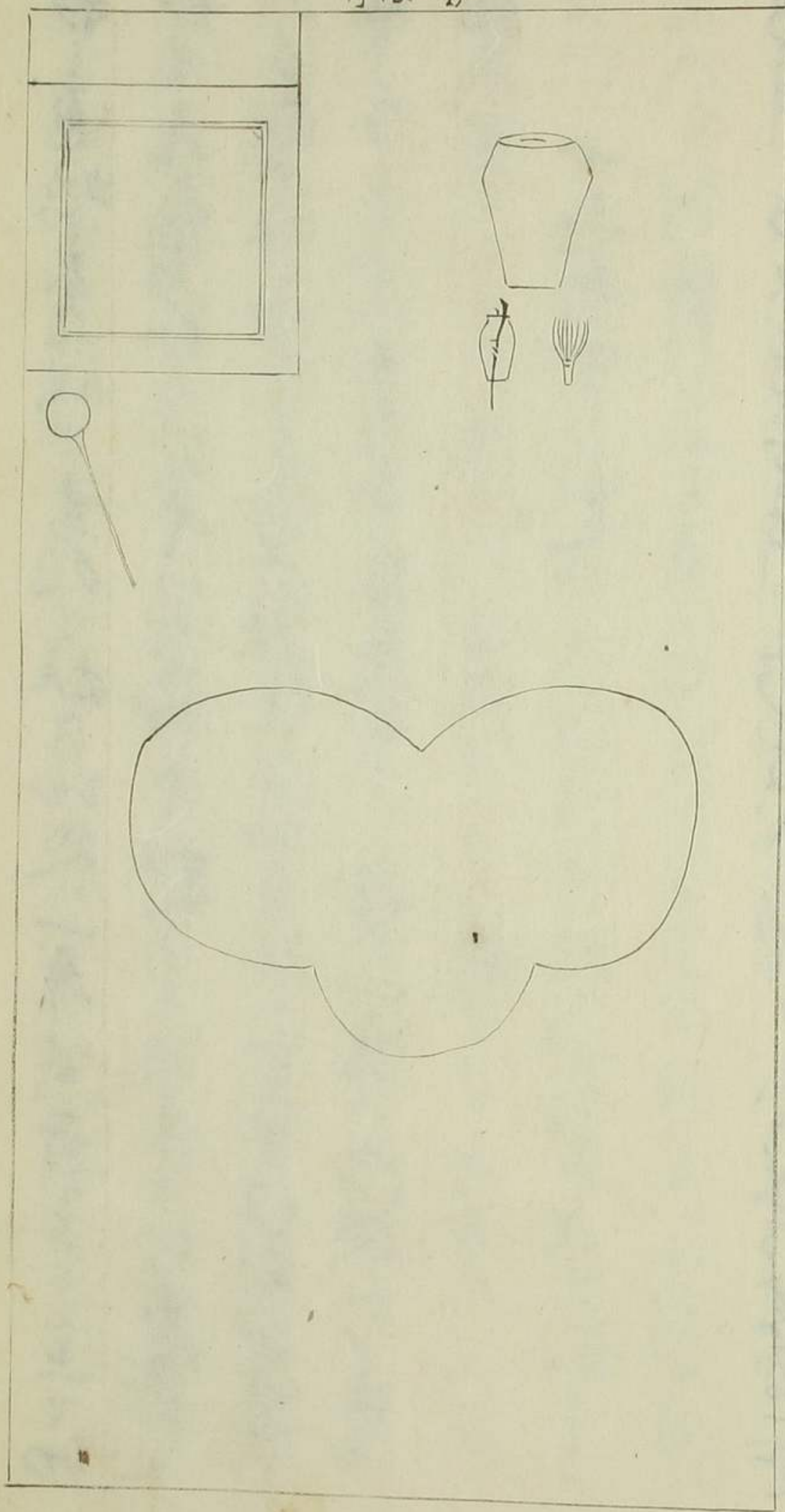
妙法庵切之圖



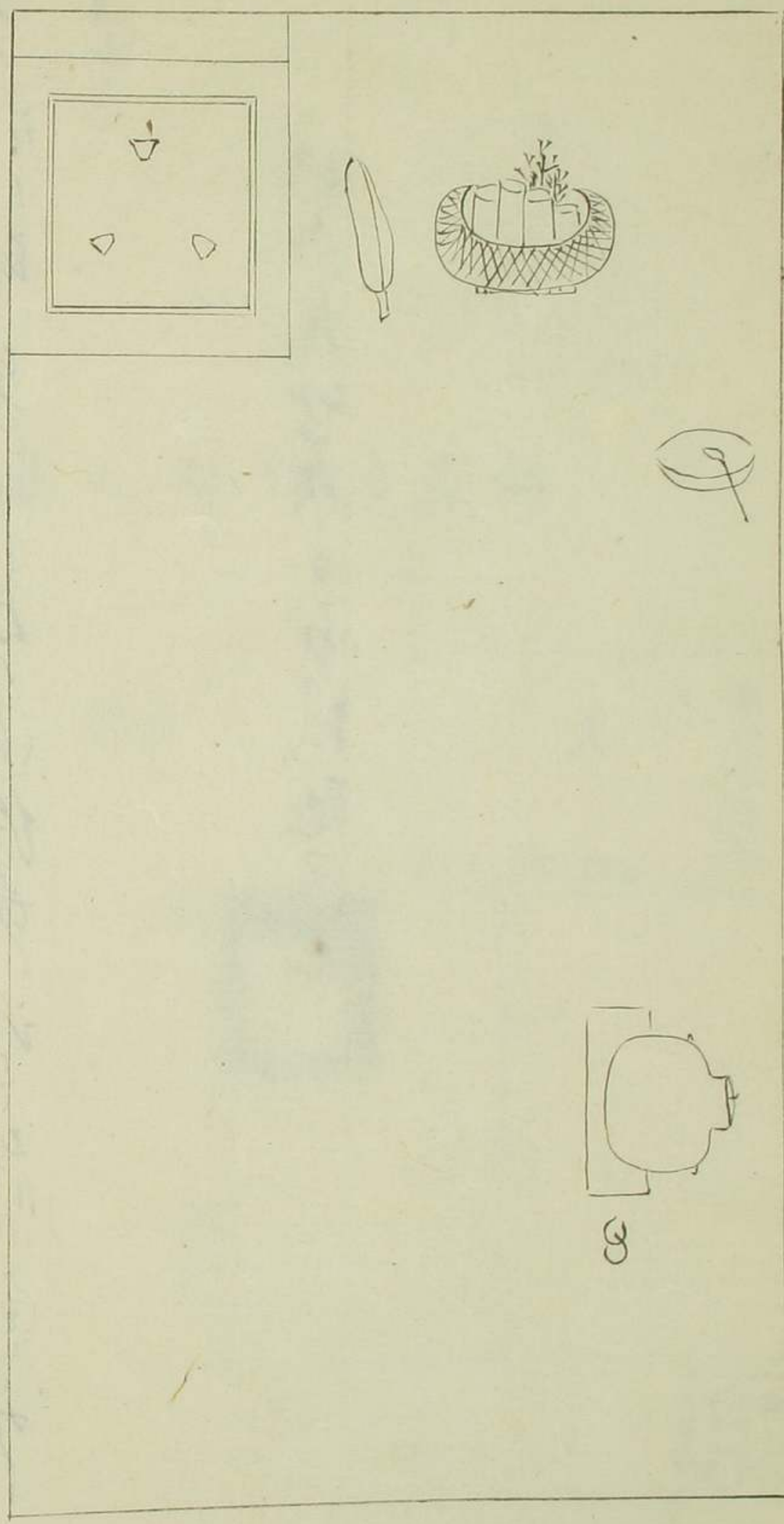
一 右妙法庵の地利休にて良壺の中の一斗半梅り  
 中敷を以て床の中しを妙法庵の中しを以て  
 右別の路を以てしを以て通途前に記す此の面を以て  
 淨也

妙法庵の地利休の面を以て

魚  
ハト  
名付



妙  
彦  
尾  
切  
之  
事  
合  
風  
境  
回  
茶







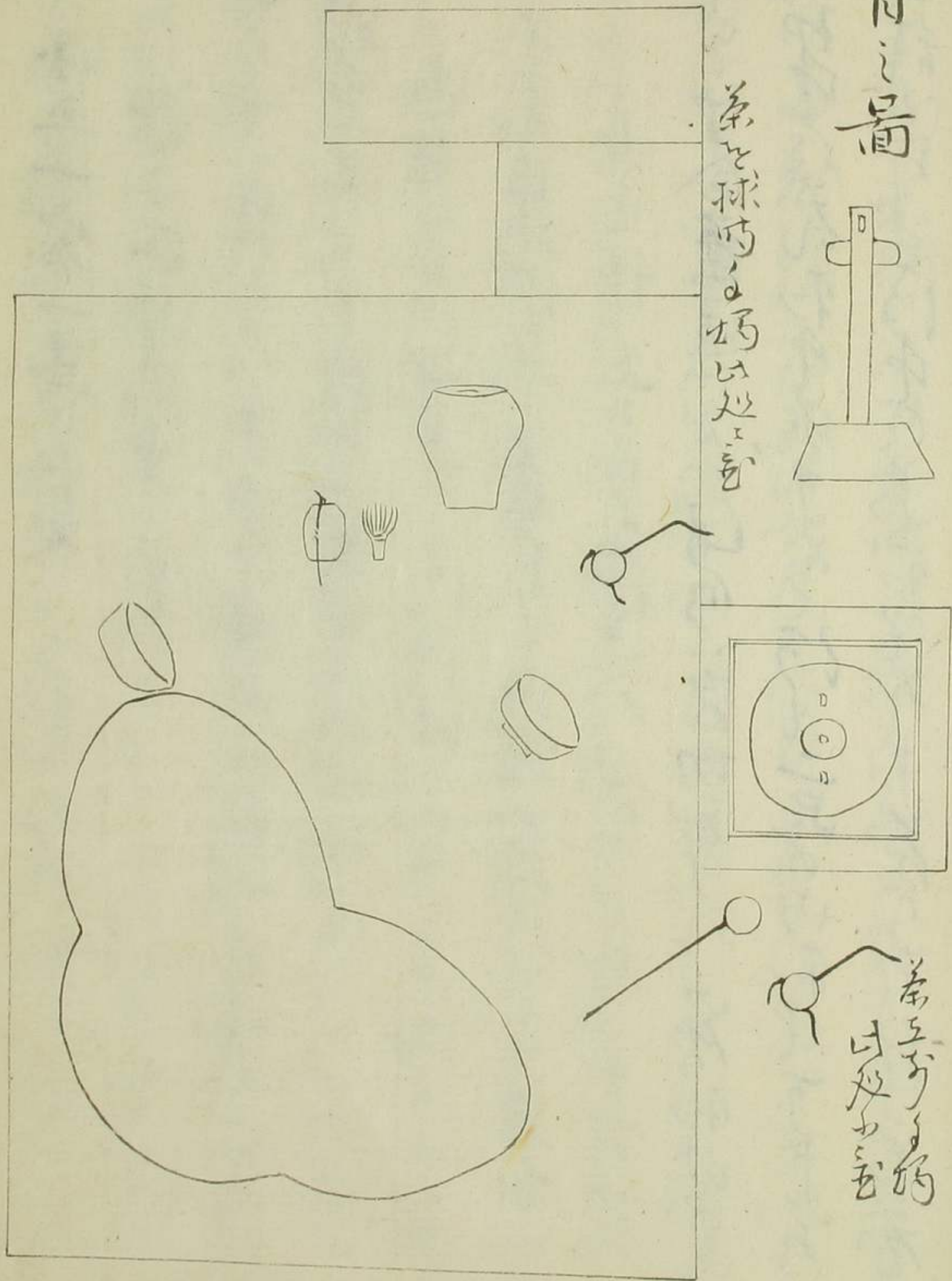


中子細い油地を纏ひ中はしめ紫々落り何れも  
お暮らさるに生入をいして炭を煎し所合席をのこす有  
さゆもまじりてさくく様様中又い落茶をいさかかり付  
を新し度中を指すもいさかかり様をいさかかりのち  
動心も揚りもさめの方なりて動心又他人様をいさか  
夏より新料取るに中子細い合に落茶なりし  
中子細い合に落茶なりし古来の様は元の親縁て  
不意としてをいさかかりなりし初縁の自れをいさか  
菊代にさるる心を費すもいさかかり成るもすく山に  
一つにさるる且流すもいさかかりなりし化はるる合と同

能く極寒にさるるけさのちとけり早し海合の然し  
予上京門口の所合にさるるいさかかり不せはるる  
いさかかりをいさかかりなりし山に流るる救はるる  
兼又いさかかり内海杯して落茶をいさかかり古風  
面白くもいさかかり所合の落茶をいさかかり落茶  
山に流るる

大目之品

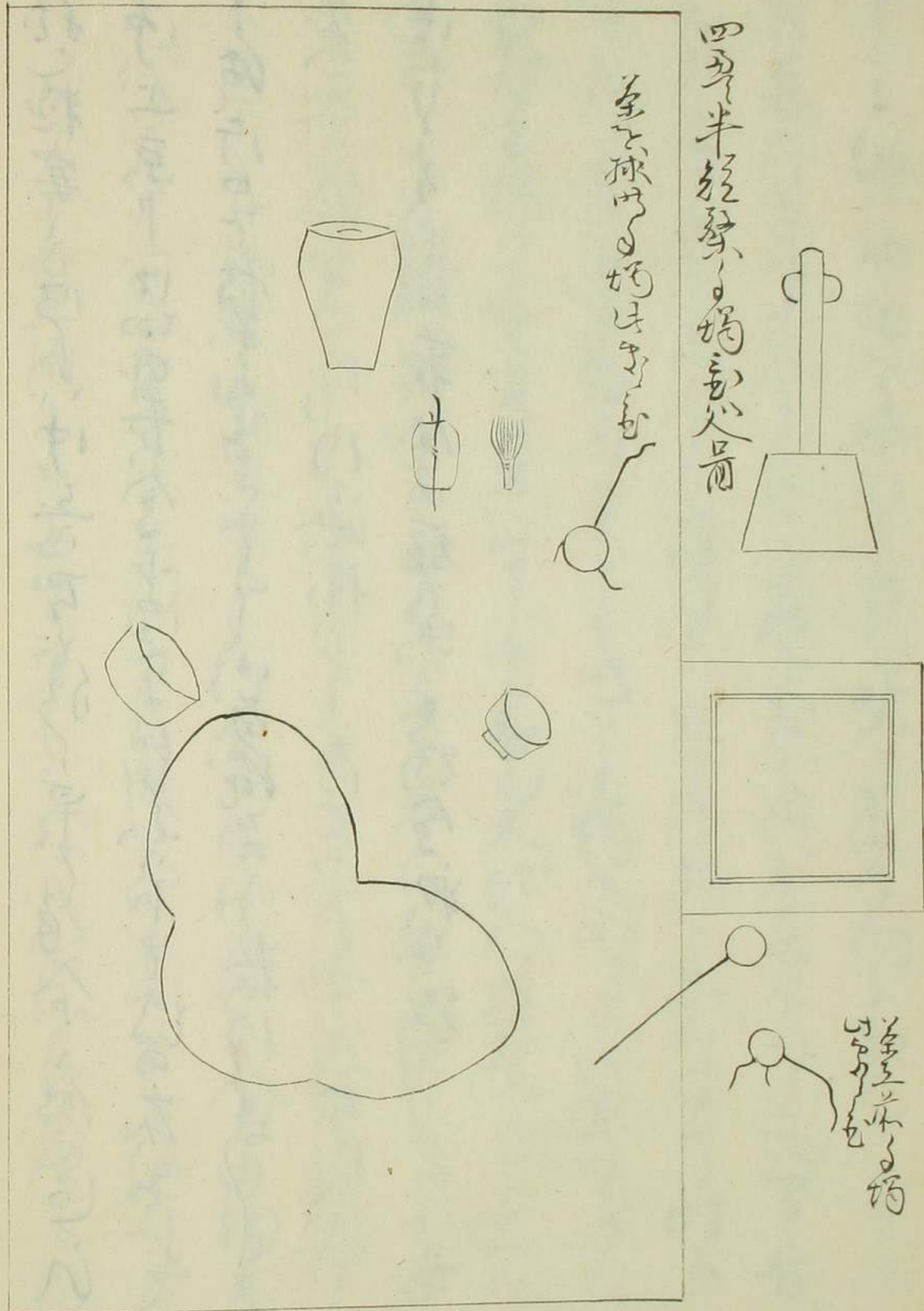
茶を練りて湯に懸す



茶を練りて湯に懸す

四身半程茶の湯に懸す

茶を練りて湯に懸す



茶を練りて湯に懸す

十五一客一亭之夏

附心所印之夏

一客有りての貴き夏に夏之夏に茶の及目花も人茶の如き  
此不消念本とて候也近由けの様抄の杯又い為茶を  
出—遊舟の葉内可入と内法地へおは打申遊不遊ふ  
戸を不意内法地へ入て亭をて法地へ様抄しておは水  
成遊つて亭を誰り上り候御入りて少し取て亭内へ入  
る中を中合遊道にたけつたお切をり候候候候候  
又初中へ花初中へ入る候候候候候二京の内初中へ入  
おは候候候候候候候候候候候候候候候候候候候

小ををを柄木柄り小刀葉巾小次花巻お裁せ下中床上  
床はに為候、袖先おのたりにむしをを候候候候候候  
花形小かき寸中束生候候候候候候候候候候候候候  
おは候候候候候候候候候候候候候候候候候候候候  
茶ををををを生不中へ多ま花を中へ候候候候候候  
中へ候候候候候候候候候候候候候候候候候候候候  
茶のつ替り夏に—及具し初中へ内秋候の道りを一色  
出—候と下り候料理亭を候候候候候候候候候候候候  
夏を除て候候候候候候候候候候候候候候候候候候候

之ハ後々諸江を以て池を築き一ノ末より一ノ亭と效なり  
 と云傳申上り時撫摩不出てさそく撫摩して後河原  
 内下中進内入彦合子進兼内証行の詠り茶を付入ける

十六貴之湯茶上る茶道あり交

附右物持あり交

一貴之付前して湯茶長舟に傳ゆり時ふはゆい水産を付  
 出たりし亦も童子より茶道口を講出甚重柄物を定まらば  
 毎の付少重に仕立しとよの上りて交し湯茶十徳の教をぬき  
 凡右り第にとまきつる結を以てたより以て下高しは茶  
 入茶碗を長柄をもつ片はにして茶果をたつて行ゆりて交る

之ついで真茶を立出り定法し余の行を以て甚重柄物水産後  
 の向付舟も傳ゆり時内入傳ゆりて後下りて交り  
 茶碗の返りてお待中の茶碗返り時、隣り、傍りをもて  
 茶碗を水産の通りふは口の中にして湯茶十徳の教をぬき  
 美人も新しき之傳ゆりも右物の道具より唐物盆を付時盆  
 のも瓶を以てして茶入を以てして盆瓶のふりて盆盆を口  
 にもやておりて出り右物より盆盆を以て交り用傳しと名  
 物の今新しき又も肩衝を付時帯盆に載せたりおのり時を  
 古のそ茶入を持たぬりて盆盆を付て盆盆の山に名物  
 せしおれぬりて付ておりて交り





其の目録茶の巻を我功ありて後の自由なる秘のありま  
秘の依りやいふ許すといふ秘の如くはこれに分量の  
中を以てしとて秘すし秘す之は義の事理融通  
りて更なるらん為る秘の書記者也  
一 是等其人家来り外秘の者には秘の事秘の事あり  
二 秘の事秘の事あり有る事秘の事あり  
三 秘の事秘の事あり有る事秘の事あり  
四 秘の事秘の事あり有る事秘の事あり  
五 秘の事秘の事あり有る事秘の事あり

十九 盆石の夏

附石葛餅の夏

一 盆石の餅をいひては三寸四方の板に七寸四方の餅を  
云々集りて秘の事秘の事あり有る事秘の事あり  
二 秘の事秘の事あり有る事秘の事あり  
三 秘の事秘の事あり有る事秘の事あり  
四 秘の事秘の事あり有る事秘の事あり  
五 秘の事秘の事あり有る事秘の事あり

世に於ては、海産の産物、其の味に、吾合、炭石を、其の心、し、た、り、記、  
抄、物、を、之、の、名、を、し、て、其、の、抄、物、抄、物、と、言、ふ、事、也、  
今、い、ふ、の、抄、物、を、之、の、名、を、し、て、其、の、抄、物、抄、物、と、言、ふ、事、也、  
し、不、苦、抄、物、と、言、ふ、事、也、其、の、抄、物、抄、物、と、言、ふ、事、也、  
い、張、ら

盆、石、の、名、を、し、て、其、の、抄、物、抄、物、と、言、ふ、事、也、

一、名、物、石、之、名、 萬、里、高、山、 萬、里、浮、橋、尾、所、産、

未、の、松、山、紀、州、産、 富、士、山、 九、山、海、東、の、産、

古、の、東、山、義、政、公、御、物、盆、石、也、

一、石、若、り、又、其、名、を、し、て、其、の、抄、物、抄、物、と、言、ふ、事、也、

青、磁、海、付、の、抄、物、盆、石、也、其、中、に、吾、合、あ、ら、ず、不、苦、抄、物、  
也、石、若、り、又、其、名、を、し、て、其、の、抄、物、抄、物、と、言、ふ、事、也、  
わ、り、不、苦、抄、物、と、言、ふ、事、也、其、の、抄、物、抄、物、と、言、ふ、事、也、



Very faint, illegible handwriting, possibly bleed-through from the reverse side of the page.

